

2024
1月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News

季刊版



■ OCVBホームページ

<https://www.ocvb.or.jp/>

【観光客の皆様向け情報】

■ 沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語

<https://www.okinawastory.jp/>



憩うよ、沖縄。



©OCVB

ごあいさつ



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

会長 下地 芳郎

あけましておめでとうございます。

まず冒頭に、「令和6年能登半島地震」でお亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2023年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、おきなわ彩発見キャンペーンNEXT(全国旅行支援)の延長、FIBAバスケットボールワールドカップを含む各種イベントの実施により、国内観光客数がコロナ前の水準に回復しました。外国人観光客においては、ランドオペレーターを含む受入側の人材不足等の課題はありつつも、台湾、韓国、香港、中国、マレーシア、シンガポールの5か国/地域の路線が再開し、今後も運航再開路線が増加する予定となっております。

昨年の入域観光客数は、約823万人を見込んでおり(内、国内726人 海外97万人)、対22年比144%、対19年比81%となっている他、人泊数及び観光客一人当たりの観光消費額についても増加傾向にあり、沖縄観光の本格的な回復が見えてきた年になりました。

当財団においては、沖縄県における観光客の人流データを分析、市町村別×月別に分かりやすく可視化した観光マーケティングレポート「おきなわ観光地域カルテ」の開発と改善を行っています。また、7月下旬から8月上旬に沖縄本島周辺に滞留した台風6号に関する被害実態調査を実施したうえで、沖縄県及び沖縄県議会に対し、災害に強い沖縄観光を実現するための要請を行いました。そして、新たな沖縄観光親善大使のあり方について、検討委員会からの提言書を基に検討も進めております。

2024年は、当財団の設立70周年を迎える節目の年となります。

国際路線(航空便・クルーズ)の再開増加、11月にはアドベンチャートラベルのイベント「Adventure Week」が初の沖縄開催を予定しております。沖縄県が導入を目指している観光目的税(宿泊税)については、広域連携DMOとして沖縄ツーリズム産業団体協議会等との連携を図り、沖縄観光の更なる発展に繋がる制度を目指します。

気持ちを新たに、皆で手を携え、沖縄観光再興に向け取り組んでいきましょう。

本年も引き続き、沖縄の観光振興に変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2024年1月5日

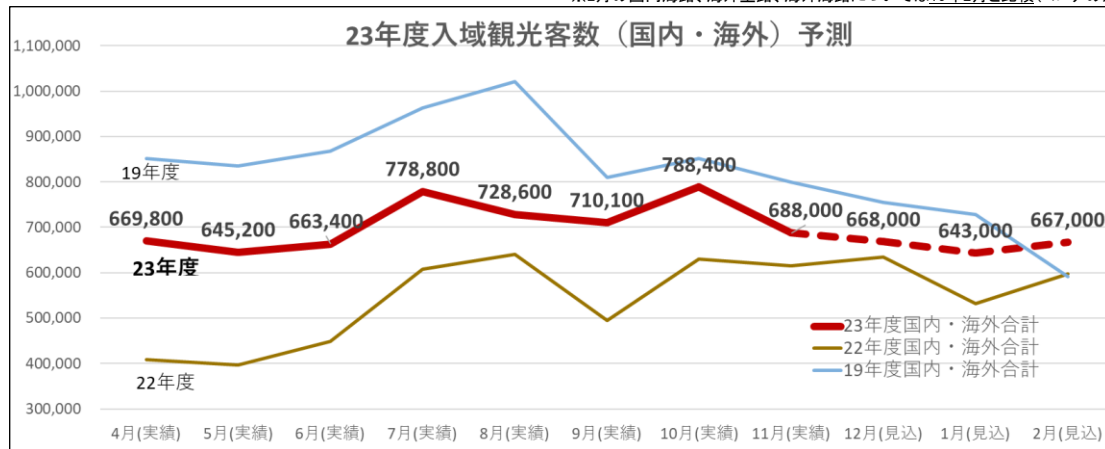
入域観光客数概況(23年11月実績および12月～2月見通し)

2023年12月25日
OCVB

1. 入域観光客数概況(23年11月実績および12月～2月見通し)

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(実績)	10月(実績)	11月(実績)	12月(見込)	1月(見込)	2月(見込)	12-2月計
23年度国内(空路)	601,700	564,200	577,300	654,900	628,700	599,700	667,600	595,400	580,000	540,000	540,000	1,660,000
23年度国内(海路)	1,400	11,100	8,400	8,700	3,500	3,800	5,300	1,700	4,000	3,000	5,000	12,000
23年度国内合計	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	672,900	597,100	584,000	543,000	545,000	1,672,000
23年度海外(空路)	60,200	63,300	68,100	80,300	71,600	79,600	79,000	77,300	80,000	87,000	82,000	249,000
23年度海外(海路)	6,500	6,600	9,600	34,900	24,800	27,000	36,500	13,600	4,000	13,000	40,000	57,000
23年度海外合計	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	115,500	90,900	84,000	100,000	122,000	306,000
23年度国内・海外合計	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	788,400	688,000	668,000	643,000	667,000	1,978,000
22年度対比(国内・海外)	163.8%	162.6%	147.9%	128.1%	113.7%	143.5%	125.0%	111.9%	105.2%	120.8%	111.6%	112.1%
19年度対比(国内・海外)	78.7%	77.3%	76.4%	80.8%	71.3%	87.7%	92.6%	86.1%	88.5%	88.3%	112.9%	95.4%
23年度国内空路/19年度国内空路	100.9%	101.4%	102.1%	100.2%	85.4%	101.8%	108.5%	99.9%	102.5%	101.5%	102.5%	102.1%
23年度国内海路/19年度国内海路	28.0%	108.8%	200.0%	126.1%	145.8%	292.3%	94.6%	42.5%	59.7%	136.4%	94.3%	101.7%
23年度国内合計/19年度国内合計	100.3%	101.6%	102.8%	100.4%	85.6%	102.2%	108.4%	99.5%	102.0%	101.6%	102.8%	102.1%
23年度海外空路/19年度海外空路	40.6%	39.0%	40.1%	46.1%	47.7%	65.9%	64.2%	79.0%	76.2%	71.4%	59.1%	68.1%
23年度海外海路/19年度海外海路	6.4%	6.2%	7.5%	27.1%	18.7%	27.6%	34.0%	13.4%	5.2%	18.2%	39.5%	22.8%
23年度海外合計/19年度海外合計	26.6%	26.0%	26.0%	38.0%	34.1%	48.7%	50.1%	45.7%	46.1%	51.7%	50.8%	49.7%

※2月の国内海路、海外空路、海外海路については19年2月と比較(コロナの影響を受けているため)



(概況)

国内入域については年末年始にかけて宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄路線の需要が高いこと、県内各地で開催されるマラソン大会やプロ野球・プロサッカーキャンプなどのスポーツイベントの開催により、旅行需要は引き続き好調に推移すると見込まれる。

海外入域については、空路は特に台北・韓国仁川、香港路線については予約が堅調に推移しているほか、1月以降の台北路線の増便および高雄路線の運航再開、上海路線の増便等により空路入域客数に関してはコロナ前の7割程度の水準まで回復する見込み。海路は、12月以降も引き続き台湾や中国(上海・厦門・香港)などから入港が予定されているが、入域客数はコロナ前の3割弱の水準となる見通し。

なお、年間入域観光客数の見通し(23年暦年)は先月発表時点から2,000人減って、823万9,500人となる見通し。

(詳細)

・12月:【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の58万人(19年12月対比 102.5%)と見込む。特に宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄路線の需要が高い。(海路)横浜港から1回入港予定。入域客数は0.4万人(19年12月対比 59.7%)となる見通し。

【海外】(空路)北京那覇路線(中国国際航空)運航再開(12月23日～水・土曜のみ)により入域客数は8万人(19年12月対比 76.2%)となる見通し。(海路)厦門1回、香港1回の合計2回入港予定。入域客数は0.4万人(19年12月対比 5.2%)となる見通し。

・1月:【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の54万人(20年1月対比 101.5%)と見込む。(海路)横浜港から1回入港予定。入域客数は0.3万人(20年1月対比 136.4%)となる見通し。

【海外】(空路)台湾路線(台北・高雄)の増便・運航再開や上海路線の増便により入域客数は8.7万人(20年1月対比 71.4%)となる見通し。

・台北那覇路線◆チャイナエアライン:1月1日から火・木・土・日曜のみ1日2往復へ増便

・高雄那覇路線◆チャイナエアライン:1月1日から月・水・金曜のみ運航 ◆タイガーエアー1月16日から1日1往復運航(2月14日まで)

・上海那覇路線◆中国東方航空:1月26日から水・土曜のみ1日2往復へ増便 ◆中国春秋航空 1月26日より新規就航(月・水・金・日曜)
◆上海吉祥航空 1月31日まで運休

(海路)中国(上海、香港)より2回入港予定。入域客数は1.3万人(20年1月対比 18.2%)となる見通し。

・2月:【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の54万人(20年2月対比 102.5%)と見込む。(海路)入域客数は0.5万人(19年2月対比 94.3%)となる見通し。

【海外】(空路)入域客数は8.2万人(19年2月対比 59.1%)となる見通し。

(海路)香港や上海などから計9回入港予定。入域客数は4万人(19年2月対比 39.5%)となる見通し。

2023年度 入域数 実績概況

数値引用／沖縄県観光政策課

1. 沖縄入域観光客数

総計	総計				◆空路/ 海路別	総計／空路				総計／海路			
	入域数	前年比	前年増減	前年実績		入域数	前年比	前年増減	前年実績	入域数	前年比	前年増減	前年実績
	(人)	(%)	(人)	(人)		(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
4-6月計	1,978,600	157.7%	+724,300	1,254,300	4-6月計	1,935,000	154.8%	+684,700	1,250,300	43,600	1090.0%	+39,600	4,000
7-9月計	2,217,200	127.2%	+473,900	1,743,300	7-9月計	2,114,500	121.6%	+375,900	1,738,600	102,700	2185.1%	+98,000	4,700
上期計	4,195,800	140.0%	+1,198,200	2,997,600	上期計	4,049,500	135.5%	+1,060,600	2,988,900	146,300	1681.6%	+137,600	8,700
10月	788,400	125.0%	+157,700	630,700	10月	746,600	118.7%	+117,700	628,900	41,800	2322.2%	+40,000	1,800
11月	688,000	111.9%	+73,000	615,000	11月	672,700	109.6%	+59,100	613,600	15,300	1092.9%	+13,900	1,400
年度計	5,672,200	83.7%	△1,102,400	6,774,600	年度計	5,468,800	81.1%	△1,273,800	6,742,600	203,400	635.6%	+171,400	32,000

国内	国内客／合計				◆空路/ 海路別	国内客／空路				国内客／海路			
	入域数	前年比	前年増減	前年実績		入域数	前年比	前年増減	前年実績	入域数	前年比	前年増減	前年実績
	(人)	(%)	(人)	(人)		(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
4-6月計	1,764,100	140.6%	+509,800	1,254,300	4-6月計	1,743,200	139.4%	+492,900	1,250,300	20,900	522.5%	+16,900	4,000
7-9月計	1,899,300	109.0%	+156,100	1,743,200	7-9月計	1,883,300	108.3%	+144,800	1,738,500	16,000	340.4%	+11,300	4,700
上期計	3,663,400	122.2%	+665,900	2,997,500	上期計	3,626,500	121.3%	+637,700	2,988,800	36,900	424.1%	+28,200	8,700
10月	672,900	107.1%	+44,900	628,000	10月	667,600	106.6%	+41,400	626,200	5,300	196.3%	+2,600	2,700
11月	597,100	99.0%	△5,800	602,900	11月	595,400	99.0%	△6,100	601,500	1,700	14.0%	△10,400	12,100
年度計	4,933,400	75.0%	△1,641,100	6,574,500	年度計	4,889,500	74.6%	△1,666,100	6,555,600	43,900	71.4%	△17,600	61,500

外国	外国客／合計				◆空路／ 海路別	外国客／空路				外国客／海路			
	入域数	前年比	前年増減	前年実績		入域数	前年比	前年増減	前年実績	入域数	前年比	前年増減	前年実績
	(人)	(%)	(人)	(人)		(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
4-6月計	214,500	皆増	+214,500	0	4-6月計	191,800	皆増	+191,800		22,700	皆増	+22,700	
7-9月計	317,900	317900%	+317,800	100	7-9月計	231,200	231200%	+231,100	100	86,700		+86,700	
上期計	532,400	532400%	+532,300	100	上期計	423,000	423000%	+422,900	100	109,400		+109,400	0
10月	115,500	4278%	+112,800	2,700	10月	79,000	2926%	+76,300	2,700	36,500		+36,500	0
11月	90,900	751%	+78,800	12,100	11月	77,300	639%	+65,200	12,100	13,600		+13,600	0
年度計	738,800	369%	+538,700	200,100	年度計	579,300	310%	+392,300	187,000	159,500	1218%	+146,400	13,100

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

参考数値



<数値引用>

- 総数 : 沖縄県 観光政策課
- 八重山 : 沖縄県 八重山事務所
- 宮古 : 宮古島市 観光工商部 観光商工課
- 久米島 : 久米島町観光協会
- 座間味村 : 座間味村役場 産業振興課
- 渡嘉敷村 : 渡嘉敷村 商工観光課

<数値のご注意>

※ 各数値は、左記の関係各所が定めた統計手法により算出されているため、考え方により若干の相違があります。また各諸島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあるため、参考数値としてご覧ください。

※ 数値公表のタイミングもそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表となります。

●沖縄県入域観光客数 総計				
	2023	前年比	前年増減	2022
4-6月計	1,978,600	157.7%	+724,300	1,254,300
7-9月計	2,217,200	127.2%	+473,900	1,743,300
上期計	4,195,800	140.0%	+1,198,200	2,997,600
10月	788,400	125.0%	+157,700	630,700
11月	688,000	111.9%	+73,000	615,000
年度計	5,672,200	83.7%	△1,102,400	6,774,600

●八重山				
	2023	前年比	前年増減	2022
4-6月計	283,634	128.4%	+62,681	220,953
7-9月計	354,268	129.1%	+79,824	274,444
上期計	637,902	128.8%	+142,505	495,397
10月	109,368	109.3%	+9,342	100,026
11月		0.0%	△90,267	90,267
年度計	1,041,342	173.1%	+439,907	601,435

●宮古				
	2023	前年比	前年増減	2022
4-6月計	213,313	141.8%	+62,865	150,448
7-9月計	272,151	124.3%	+53,284	218,867
上期計	485,464	131.4%	+116,149	369,315
10月	103,820	124.1%	+20,148	83,672
11月	68,799	114.5%	+8,738	60,061
年度計	658,083	89.3%	△78,704	736,787

●久米島				
	2023	前年比	前年増減	2022
4-6月計	14,677	107.5%	+1,025	13,652
7-9月計	30,287	105.4%	+1,549	28,738
上期計	44,964	106.1%	+2,574	42,390
10月	8,752	106.1%	+500	8,252
11月	7,747	109.3%	+661	7,086
年度計	84,779	100.0%	+0	84,779

●座間味村				
	2023	前年比	前年増減	2022
4-6月計	23,645	143.2%	+7,138	16,507
7-9月計	39,387	106.5%	+2,416	36,971
上期計	63,032	117.9%	+9,554	53,478
10月	10,146	136.0%	+2,688	7,458
11月			△5,279	
年度計	73,178	89.7%	△8,431	81,609

●渡嘉敷村				
	2023	前年比	前年増減	2022
4-6月計	27,692	144.5%	+8,525	19,167
7-9月計	41,918	86.5%	△6,570	48,488
上期計	69,610	102.9%	+1,955	67,655
10月	11,612	103.2%	+360	11,252
11月	6,180	96.6%	△216	6,396
年度計	87,402	83.1%	△17,748	105,150

3. 入域数／航路別入域実績

国内 ・ 海外	4-6月計			7-9月計			上期計			10月		11月		年度計			
	入域数	対前年 増減数		入域数	対前年 増減数		入域数	入域数 シェア	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	入域数 シェア	対前年 増減数	対前年 増減数
	(人)	(人)		(人)	(人)		(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	ランキング
国内 ／ 航路別	札幌	12,000	+1,500	0	0		600	△ 14,400	200	4,300	0	4,100	600	1,000	0.0%	△2,500	41
	仙台	11,100	+1,800	10,500	+900		21,600	0.5%	+2,700	4,300	300	4,700	1,000	30,600	0.6%	+26,900	13
	福島	0	+0	0	+0		0	0.0%	+0	0	△200	300	300	300	0.0%	+300	35
	新潟	6,200	+5,200	0	+0		6,200	0.1%	+5,200	2,200	400	2,400	100	10,800	0.2%	+8,500	26
	小松	8,700	+3,900	7,200	+1,400		15,900	0.4%	+5,300	3,500	300	3,100	△ 300	22,500	0.4%	+19,100	22
	東京	844,300	+216,800	952,100	+45,200		1,796,400	43.1%	+262,000	332,100	15,700	293,000	△ 4,000	2,421,500	44.6%	+2,124,500	1
	茨城	10,100	+4,800	10,200	+1,900		20,300	0.5%	+6,700	3,800	700	3,400	△ 200	27,500	0.5%	+23,900	17
	静岡	800	+300	7,200	+3,400		8,000	0.2%	+3,700	2,500	2,500	0	0	10,500	0.2%	+10,500	25
	名古屋	154,800	+39,100	168,500	+5,900		323,300	7.7%	+45,000	58,000	△1,300	47,100	△ 6,200	428,400	7.9%	+375,100	4
	伊丹	116,600	+30,200	120,000	△5,600		236,600	5.7%	+24,600	40,800	△400	38,900	△ 1,700	316,300	5.8%	+275,700	5
	関西	191,600	+57,400	201,800	+28,200		393,400	9.4%	+85,600	68,300	3,700	59,100	△ 600	520,800	9.6%	+461,100	3
	神戸	79,800	+30,500	80,700	+3,400		160,500	3.8%	+33,900	28,700	2,700	26,100	△ 1,500	215,300	4.0%	+187,700	7
	岡山	11,800	+5,200	9,700	+1,900		21,500	0.5%	+7,100	3,900	500	3,400	0	28,800	0.5%	+25,400	16
	広島	12,400	+5,000	11,800	+2,300		24,200	0.6%	+7,300	4,500	400	4,200	0	32,900	0.6%	+28,700	12
	岩国	8,200	+4,800	8,300	+3,400		16,500	0.4%	+8,200	3,300	1,000	3,000	400	22,800	0.4%	+20,200	20
	高松	13,300	+9,600	9,600	+4,300		22,900	0.5%	+13,900	3,600	1,500	3,300	300	29,800	0.5%	+26,800	14
	松山	9,000	+5,300	8,500	+2,800		17,500	0.4%	+8,100	3,400	1,100	3,200	400	24,100	0.4%	+21,300	19
	福岡	213,600	+56,200	221,200	+34,300		434,800	10.4%	+90,500	83,900	9,300	79,500	3,600	598,200	11.0%	+522,300	2
	北九州	0	△200	0	+0		0	0.0%	△200	0	0	0	0	0	0.0%	+0	36
	長崎	0	+0	0	△400		0	0.0%	△400	0	0	0	0	0	0.0%	+0	36
	熊本	9,200	+6,500	9,600	+3,500		18,800	0.5%	+10,000	3,500	1,200	3,400	200	25,700	0.5%	+22,500	18
	大分	0	+0	0	+0		0	0.0%	+0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	36
	宮崎	8,300	+3,800	7,700	+1,900		16,000	0.4%	+5,700	3,300	1,000	3,000	200	22,300	0.4%	+19,500	21
	鹿児島	29,800	+9,600	32,400	+6,000		62,200	1.5%	+15,600	11,500	1,000	11,600	1,600	85,300	1.6%	+75,300	9
	その他	12,500	+12,500	10,200	+10,100		22,700	0.5%	+22,600	3,500	3,500	200	0	26,400	0.5%	+26,200	15
外国 ／ 国籍別	台湾	85,200	+85,200	160,200	+160,200		245,400	5.9%	+245,400					245,400	4.5%	+245,400	6
	韓国	61,200	+61,200	67,400	+67,300		128,600	3.1%	+128,500					128,600	2.4%	+128,600	8
	中国本土	2,100	+2,100	17,000	+17,000		19,100	0.5%	+19,100					19,100	0.4%	+19,100	22
	香港	31,900	+31,900	36,500	+36,500		68,400	1.6%	+68,400					68,400	1.3%	+68,400	10
	アメリカ	6,600	+6,600	4,000	+4,000		10,600	0.3%	+10,600					10,600	0.2%	+10,600	24
	カナダ	1,400	+1,400	1,000	+1,000		2,400	0.1%	+2,400					2,400	0.0%	+2,400	29
	イギリス	2,200	+2,200	800	+800		3,000	0.1%	+3,000					3,000	0.1%	+3,000	28
	フランス	300	+300	500	+500		800	0.0%	+800					800	0.0%	+800	33
	タイ	3,600	+3,600	300	+300		3,900	0.1%	+3,900					3,900	0.1%	+3,900	27
	シンカポール	900	+900	400	+400		1,300	0.0%	+1,300					1,300	0.0%	+1,300	31
	マレーシア	700	+700	600	+600		1,300	0.0%	+1,300					1,300	0.0%	+1,300	31
	インドネシア	300	+300	300	+300		600	0.0%	+600					600	0.0%	+600	34
	オーストラリア	1,100	+1,100	900	+900		2,000	0.0%	+2,000					2,000	0.0%	+2,000	30
	その他※	16,800	+16,800	28,300	+28,300		45,100	1.1%	+45,100					45,100	0.8%	+45,100	11
総 計		1,978,400	+724,100	2,205,400	+472,900		4,172,400	-1439900%	+1,195,700	672,900	+46,800	597,100	△5,800	5,434,400	100.0%	+4,831,500	—

4. 入域数／エリア構成比（年度累計／同期比）

国内入域エリア別 4-11月累計

	構成比	
	比率	前年差
東日本	52.3%	△0.9%
中部	8.7%	△1.1%
関西・中四国	24.1%	+0.6%
九州	14.8%	+1.4%

海外入域エリア別 4-9月累計

	構成比	
	比率	前年差
台湾	46.1%	皆増
韓国	24.2%	皆増
中国本土	3.6%	皆増
香港	12.8%	皆増
海外その他	13.3%	皆増

5. 航空旅客輸送実績／需給バランス

〔数値について〕 ※国内数値は、沖縄県観光政策課発表より引用、外国数値はOCVB独自調査によるもの
※いずれも沖縄向け(定期路線、下り便)の数値
※国内は、チャーター便など不定期路線およびLCCの輸送実績が含まれていません
※外国は、チャーター便など不定期路線および各国一部航空会社の輸送実績が含まれていません

参考数値

● 月ごとの供給/需要/利用率 (国内路線のみ)

前年実績

	4-6月計	7-9月計	上期計	10月	11月	年度計	上期計	下期計	年度計
提供座席	2,336,221	2,384,822	4,721,043	825,321	764,505	6,310,869	2,506,599	3,182,187	5,688,786
輸送実績	1,725,251	1,848,858	3,574,109	674,581	618,433	4,867,123	973,839	1,640,248	2,614,087
利用率	73.8	77.5	75.7	81.7	80.9	77.1	38.9	51.5	46.0

参考値
FSC・LCC内訳

	FSC	LCC
令和5年11月	508,500	86,900
令和4年11月	507,000	94,500
増減数	1,500	△7,600
前年同月比	100.3%	92.0%
FSC・LCC比率	85.4%	14.6%

参考数値

● 路線別の供給/需要/利用率 (国内累計)

国内		輸送実績 (需要)				提供座席 (供給)				利用率			需給
発地	着地	2023年度 累計	2022年度 同期累計	同期比		2023年度 累計	2022年度 同期累計	同期比		2023年度 累計	2022年度 同期累計	増減	前年比 差異
				前年比	増減			前年比	増減				
札幌	那覇	0	147	0.0%	△147	0	292	0.0%	△292		50%		+0%
仙台	那覇	36,734	5,504	667.4%	+31,230	45,976	7,375	623.4%	+38,601	80%	75%	+5%	+44%
新潟	那覇	12,888	6,157	209.3%	+6,731	20,086	15,604	128.7%	+4,482	64%	39%	+25%	+81%
小松	那覇	27,056	20,891	129.5%	+6,165	39,105	36,960	105.8%	+2,145	69%	57%	+13%	+24%
茨城	那覇	33,420	24,718	135.2%	+8,702	41,949	43,011	97.5%	△1,062	80%	57%	+22%	+38%
成田	那覇	0	0		+0	0	0		+0				
羽田	那覇	2,062,838	1,817,451	113.5%	+245,387	2,533,823	2,411,316	105.1%	+122,507	81%	75%	+6%	+8%
羽田	宮古	183,517	139,132	131.9%	+44,385	244,132	185,222	131.8%	+58,910	75%	75%	+0%	+0%
羽田	石垣	214,147	192,020	111.5%	+22,127	270,226	255,225	105.9%	+15,001	79%	75%	+4%	+6%
羽田	久米島	4,672	5,829	80.2%	△1,157	6,930	7,920	87.5%	△990	67%	74%	△6%	△7%
羽田	下地島	35,600	35,003	101.7%	+597	41,949	43,542	96.3%	△1,593	85%	80%	+4%	+5%
静岡	那覇	12,650	5,195	243.5%	+7,455	19,920	14,276	139.5%	+5,644	64%	36%	+27%	+104%
東日本エリア計		2,623,522	2,252,047	116.5%	+371,475	3,264,096	3,020,743	108.1%	+243,353	80%	75%	+6%	+8%
名古屋	那覇	335,886	270,137	124.3%	+65,749	435,017	443,554	98.1%	△8,537	77%	61%	+16%	+26%
名古屋	宮古	34,717	28,525	121.7%	+6,192	48,241	62,297	77.4%	△14,056	72%	46%	+26%	+44%
名古屋	石垣	32,393	30,891	104.9%	+1,502	48,583	62,461	77.8%	△13,878	67%	49%	+17%	+27%
中部エリア計		402,996	329,553	122.3%	+73,443	531,841	568,312	93.6%	△36,471	76%	58%	+18%	+29%
伊丹	那覇	375,989	350,607	107.2%	+25,382	473,425	514,206	92.1%	△40,781	79%	68%	+11%	+15%
関西	那覇	174,356	135,308	128.9%	+39,048	262,063	246,644	106.3%	+15,419	67%	55%	+12%	+23%
関西	宮古	63,844	45,804	139.4%	+18,040	92,684	75,308	123.1%	+17,376	69%	61%	+8%	+16%
関西	石垣	55,028	50,196	109.6%	+4,832	78,371	75,034	104.4%	+3,337	70%	67%	+3%	+5%
神戸	那覇	219,001	175,793	124.6%	+43,208	296,136	288,907	102.5%	+7,229	74%	61%	+13%	+22%
神戸	下地島	33,353	28,799	115.8%	+4,554	41,772	42,480	98.3%	△708	80%	68%	+12%	+17%
岡山	那覇	35,139	25,806	136.2%	+9,333	40,755	38,445	106.0%	+2,310	86%	67%	+19%	+30%
広島	那覇	40,027	30,553	131.0%	+9,474	45,727	47,158	97.0%	△1,431	88%	65%	+23%	+34%
岩国	那覇	27,680	15,805	175.1%	+11,875	38,900	40,338	96.4%	△1,438	71%	39%	+32%	+79%
高松	那覇	36,247	17,215	210.6%	+19,032	48,375	44,558	108.6%	+3,817	75%	39%	+36%	+102%
松山	那覇	29,291	17,509	167.3%	+11,782	39,175	40,172	97.5%	△997	75%	44%	+31%	+70%
関西・中四国エリア計		1,098,472	898,317	122.3%	+200,155	1,469,217	1,463,044	100.4%	+6,173	75%	61%	+13%	+22%
福岡	那覇	508,543	412,185	123.4%	+96,358	741,317	694,660	106.7%	+46,657	69%	59%	+9%	+17%
福岡	宮古	0	996	0.0%	△996	0	1,826	0.0%	△1,826		55%		+0%
福岡	石垣	0	0		+0	0	0		+0				
北九州	那覇	0	284	0.0%	△284	0	300	0.0%	△300		95%		+0%
長崎	那覇	0	424	0.0%	△424	0	1,826	0.0%	△1,826		23%		+0%
熊本	那覇	31,188	17,496	178.3%	+13,692	39,176	34,691	112.9%	+4,485	80%	50%	+29%	+65%
宮崎	那覇	95,601	80,518	118.7%	+15,083	120,192	122,548	98.1%	△2,356	80%	66%	+14%	+21%
鹿児島	那覇	48,075	33,737	142.5%	+14,338	68,914	65,639	105.0%	+3,275	70%	51%	+18%	+38%
奄美	那覇	0	1,848	0.0%	△1,848	0	3,850	0.0%	△3,850		48%		+0%
与論	那覇	21,194	9,718	218.1%	+11,476	25,044	12,500	200.4%	+12,544	85%	78%	+7%	+18%
沖永良部	那覇	7,834	6,438	121.7%	+1,396	10,992	11,232	97.9%	△240	71%	57%	+14%	+24%
九州エリア計		712,435	563,644	126.4%	+148,791	1,005,635	949,072	106.0%	+56,563	71%	59%	+11%	+20%
国内/合計		4,837,425	4,043,561	119.6%	+793,864	6,270,789	6,001,171	104.5%	+269,618	77%	67%	+10%	+15%

※利用率が70%以上の部分に色付けています。

海外													
台湾	那覇・石垣	266,533	100,372	265.5%	+166,161	311,946	142,512	218.9%	+169,434	85%	70%	+15%	+47%
韓国	那覇	189,950	77,001	246.7%	+112,949	226,230	92,399	244.8%	+133,831	84%	83%	+1%	+2%
中国本土	那覇	15,174	0		+15,174	26,149	0		+26,149	58%			
香港	那覇・石垣・下地	95,041	37,987	250.2%	+57,054	108,522	46,412	233.8%	+62,110	88%	82%	+6%	+16%
外国/合計		566,698	215,360	263.1%	+351,338	672,847	281,323	239.2%	+391,524	84%	77%	+8%	+24%

6. エリア概況（海外）東南アジア・東アジア

今後の渡航状況を見据え、OCVBが海外プロモーションとして対象とする各国のトレンド/旅行市場の動きや海外現地政府が実施する施策/措置など、今後の営業活動の参考になる情報を毎月お届けしてまいります。※定期便あり。

市場名	市場動向	2023年12月22日時点
台湾※ 	■トレンド等: オンライン旅行予約サイト・Klook（クルック）がまとめた今年1～10月の台湾ユーザーの動向によると、「人気海外旅行先TOP10」は1位が東京、2位が大阪で日本がワンツーを飾った。以下、バンコク（タイ）、香港、京都・奈良、シンガポール、ソウル（韓国）、沖縄、パリ（フランス）、プサン（韓国）が続いた。 ■旅行業界状況: チャイナエアラインは2024年1月1日から那覇－高雄線の運航を再開する。また、タイガーエア台湾も2024年1月16日より那覇-高雄線の運航を再開する。高雄路線の復便を記念して、OCVBは空港歓迎式を行い、同便の搭乗客を歓迎する。 OCVBは12月2～3日に高雄市で開催された「高雄音楽イベント: 下酒祭」にて、沖縄の観光×物産×文化の魅力を発信し、高雄市を中心に復便後のインバウンド需要喚起を図った。	
中国※ 	■海外旅行: 可能（ビザ等一部制約あり） ■旅行業界状況: 中国外務省は12月8日、中国と外国の人的往来を促進させるための臨時措置として、訪中ビザの取得にかかる料金を12月11日から2024年末まで一律25%引き下げると発表した。 ※中国文化観光省によると2023年上半年に中国旅行会社が受け入れた外国人旅行者数は約48万人（2019年の約18分の1） ・中国東方航空(MU) 1/26(金)～上海-那覇路線 増便 水・土を除く週5便 運航 ・春秋航空(9C) 1/26(金)～上海-那覇路線 新規就航 月・水・金・日 週4便 運航 OCVBは空港歓迎式を行い、同便の搭乗客を歓迎する。	
香港※ 	■旅行業界状況等: JNTOの推計値によると、11月の香港からの訪日外客数は20万400人、2019年同月比0.3%の伸び率。香港-熊本間の復便などもあり、日本への直行便数が前年同月に比べ回復傾向にある。 ■OCVB取り組み: OCVBは12月15日～17日に開催された「DRT SHOW HONG KONG」に出展し、県内事業者と共に沖縄ダイビングの魅力をPRした。また、イベント主催者よりブースデザインに対して、ベスト自然景観プロモーション賞を受賞した。	
韓国※ 	■旅行業界状況: JNTOの推計値によると11月に64万9,900人の韓国人が訪日したことに伴い、2023年1月から11月までの訪日韓国人客数の累計は617万5,800人となっている。2019年同期比で伸び率217%となり、2023年全体の訪日韓国人数も670万人に達する見通しで訪日旅行の好調が続いている。 ※2019年は日韓情勢の影響で訪日旅行を控える動きがあった。 12月初旬に済州観光協会視察団/ランナー5名がOCVBとの交流促進とNAHAマラソンの視察・参加を目的に来沖した。5名のランナーとともに500位以内の好成績であった。視察団長より2024年に済州/沖縄双方向チャーター運航を2回計画している旨のコメントをいただいた。（2023年は3回 双方向チャーター運航）	
シンガポール 	■トレンド等: 北海道・東京・大阪が人気 ■市場情報: 新型コロナの感染拡大などを受け、公立病院の病床稼働率が上昇し、一部の病院の病床稼働率が12月4～9日の間で100.0%に達しているが、オン・イエクン保健相は感染警戒レベル（DORSCON）を現行の一番下のレベルの「グリーン」から引き上げる可能性を否定している。	
タイ 	■トレンド等: 韓国・シンガポール・ベトナムが人気 ■旅行業界状況: OCVBは2024年1月25日～1月28日にバンコクで開催される旅行博「TITE」に出展予定。観光庁の訪日外国人消費動向調査2023年7～9月期の全国調査結果（1次速報）によると【一般客】訪日タイ人旅行者数（2019年比）は-27.7%と減少したのに対し1人当たり旅行支出（2019年比）は+20.5%と増加していることから一人当たりの旅行消費意欲が高まっていると考えられる。	
マレーシア※ 	■トレンド等: 手軽に行ける渡航先として中国の北京、上海が人気。 ■旅行業界状況: 観光庁の訪日外国人消費動向調査2023年7～9月期の全国調査結果（1次速報）によると【一般客】訪日マレーシア人旅行者数（2019年比）は-9.8%と減少したのに対して1人当たりの旅行支出（2019年比）は+62.0%と増加していることから一人当たりの旅行消費意欲が高まっていると考えられる。	

6. エリア概況（海外）ヨーロッパ・オーストラリア

市場名	市場動向	2023年12月22日時点
英国 	■旅行業界状況:景気に対する警戒感が残るものの、旅行意欲は継続して高い。Skyscannerの調査によると、英国の旅行者が参考にする媒体は口コミ(43%)、テレビや映画(28%)、ガイドブック(23%)、YouTubeと インスタ(20%)、Facebook(15%)という結果が出た。従来の媒体も未だに強いことがわかった。	
フランス 	■トレンド等:Skyscannerの発表によると2024年は、コンサート、セットジェット旅行(映画、本の舞台を訪れる)、美食旅行など文化的体験がフランス人に人気になると予測されている。目的地別では、大阪(検索数+276%)、東京(+257%)、台北(+211%)が検索数を大きく伸ばしている。 ■OCVB取り組み:OCVBは2024年1月11日～14日に開催されるフランスダイビング博Salon de la plongéeに出展を行い、県内の事業者と共に沖縄のダイビングデスティネーションとしての魅力をPRする。	
ドイツ 	■トレンド等:Amadeus IT Groupの分析によると2024年は音楽観光がトレンドになると予測されている。インフルエンサーがエーエージェントとなり、旅行者を誘導する。また、AIの活用が旅行の楽しさを大きく変えると予測している。 ■旅行業界状況:ドイツでは法人旅行、MICEなどの旅行企画でのカーボンフットプリント資料の提出を求められるようになっており、旅行会社の仕事を圧迫している。 ※カーボンフットプリントとは、旅行の場合、そのサイクル(移動、電力消費等)で排出される温室効果ガスの排出量をCO2に換算して、商品・サービスに表示する仕組み。	
オーストラリア 	■トレンド等:日本の人気は高く、JNTO推計値によると11月の豪州からの訪日客数は5万9,600人。2019年同月比23.3%の伸び率。 ■旅行業界状況:Virtuoso(ラグジュアリートラベルコンソーシアム)の調査によると富裕層の旅行のトレンドとしてロングホールの人気が復活してる。文化的なコンテンツが豊富な日本やエジプトなどが人気。	



※寄港予定は12月22日現在の情報です。
 ※今後、寄港中止・変更となる可能性があります。
 ※今後の寄港予定（予約状況）は各港湾管理者へお問い合わせください。
 ※「MSC BELLISSIMA ※」は、那覇港からの発着クルーズを予定しております。

那覇港

入 港 日 時			出 航 日 時			船 名	総トン数	旅客定員	備 考
日付		時間	日付		時間				
1月9日	火	11:00	1月9日	火	21:00	RESORTS WORLD ONE	75,338	3,600	
1月13日	土	11:00	1月14日	日	20:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	第2CB
1月17日	水	11:00	1月18日	木	20:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	第2CB
1月22日	月	11:00	1月23日	火	20:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	第2CB
1月27日	土	11:00	1月28日	日	20:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	第2CB
1月30日	火	11:00	1月30日	火	19:00	ADORA MAGIC CITY	135,500	6,746	

平良港

入 港 日 時			出 航 日 時			船 名	総トン数	旅客定員	備 考
日付		時間	日付		時間				
1月10日	水	11:00	1月10日	水	21:00	RESORTS WORLD ONE	75,338	3,600	
1月19日	金	11:00	1月19日	金	18:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	
1月24日	水	11:00	1月24日	水	18:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	
1月29日	月	11:00	1月29日	月	18:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	

石垣港

入 港 日 時			出 航 日 時			船 名	総トン数	旅客定員	備 考
日付		時間	日付		時間				
1月12日	金	7:00	1月12日	金	17:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	
1月15日	月	10:00	1月15日	月	19:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	
1月21日	日	7:00	1月21日	日	17:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	
1月26日	金	7:00	1月26日	金	17:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	
1月31日	水	7:00	1月31日	水	17:00	MSC BELLISSIMA ※	171,598	7,250	

【参照元】 那覇港：（12/21更新）<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>
 平良港：（12/7更新）<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>
 石垣港：（12/1更新）<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を発信しています。

OCVBでは、沖縄県内へクルーズ船が寄港する際に予想される、一時的な混雑の回避や、クルーズ乗船客向けのタクシーの配車、土産物店等の販売強化など受入地域におけるソフト面での体制強化を目的に、SNS（Twitter）を活用した寄港情報の事前発信を実施しております。



アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報 プロフィール URL：<https://twitter.com/OkinawaCruise>

●国際線スケジュール(2023年12月20日現在) 最新のスケジュール、運航状況は航空各社のHP等ご確認ください。出発、到着時刻は現地時刻です。



【台湾路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
台北→那覇	エバー航空	BR112	06:55	09:15	デ일리ー運航
台北→那覇	タイガーエア台湾	IT230	06:35	08:55	デ일리ー運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI120	08:15	10:45	デ일리ー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM924	09:35	12:05	デ일리ー運航
台北→那覇	スターラックス航空	JX870	12:00	14:25	デ일리ー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM926	15:25	17:55	デ일리ー運航
台北→那覇	エバー航空	BR186	16:50	19:10	デ일리ー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM928	18:00	20:30	デ일리ー運航

チャイナエアライン：1月1日～3月30日 高雄-那覇便の運航再開予定(月、水、金)<CI132便>高雄16:25発 那覇19:00着
1月1日～3月30日 桃園-那覇便(那覇夜便)の運航再開予定(火、木、土、日)<CI122便>桃園16:35発 那覇19:00着
タイガーエア台湾：1月16日～2月14日 高雄-那覇便の運航再開予定(デ일리ー)<IT288便>高雄11:00発 那覇13:45着

【中国路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
北京→那覇	中国国際航空	CA831	11:00	15:30	水・土
上海→那覇	中国東方航空	MU2085	10:05	13:30	デ일리ー運航
上海→那覇	上海吉祥航空	HO1331	14:35	17:45	デ일리ー運航

中国国際航空：12月23日～運航再開
中国東方航空：11月16日～ 運航再開
1月26日～増便予定(月、火、木、金、日)<MU287便>上海12:15発 那覇15:30着
上海吉祥航空：10月29日～1月31日 全便フライトキャンセル
春秋航空：1月26日～上海-那覇便新規運航予定(月、水、金、日)<9C6977便>上海10:50発 那覇13:55着

【韓国路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
仁川→那覇	大韓航空	KE755	08:05	10:25	デ일리ー運航
仁川→那覇	アジアナ航空	OZ172	09:40	11:55	デ일리ー運航
仁川→那覇	ジンエアー	LJ341	10:10	12:30	デ일리ー運航
仁川→那覇	ティーウェイ航空	TW271	11:40	14:00	デ일리ー運航
仁川→那覇	チェジュ航空	7C1802	13:20	15:45	デ일리ー運航

【香港路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
香港→那覇	香港エクスプレス	UO820	07:35	11:05	デ일리ー運航
香港→那覇	香港航空	HX682	07:25	11:00	デ일리ー運航
香港→那覇	香港航空	HX658	11:30	15:00	デ일리ー運航

【マレーシア路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
クアラルンプール→那覇	バティックエア・マレーシア	OD882※	07:10	15:25	月・水・金・日

※台北経由【台北12:15着/台北13:15発】

【シンガポール路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
シンガポール→那覇	ジェットスターアジア	3K791	02:15	08:25	火・木・日

【定期便まとめ】

路線	便数	備考
那覇台北	56便/週	5社運航
那覇北京	2便/週	1社運航
那覇上海	14便/週	2社運航
那覇仁川	35便/週	5社運航
那覇香港	21便/週	2社運航
那覇クアラルンプール	4便/週	1社運航
那覇シンガポール	3便/週	1社運航
6路線計	135便/週	17社運航
便数回復率	52.7%	

※回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出

※北京便、上海便は2023サマースケジュール届出済み便数で算出
(備考欄の運航便数)

国内向けプロモーションについて

国内事業部
国内プロモーション課

■沖縄ファンコミュニティサイト「沖縄Fun」がオープン！宿泊券が当たる投稿キャンペーンも実施中！

OCVBでは、沖縄県より受託している国内需要安定化事業の一環で、沖縄ファンが集うコミュニティサイト「沖縄Fun」を12月25日に公開しました。

近年、著しい人口減少により国内マーケットの規模が縮小していく中で、国内の観光需要を安定的に獲得していくためには、本県観光客の90%以上を占めるリピーターの来訪回数や消費単価を増やしていくことが重要であると考えております。リピーターは共感・共有・拡散する傾向が高いとされることから、「沖縄通」のおすすめのスポットや商品などを紹介するコミュニケーションの場を創出し、リピーターの来訪及び購買意欲の向上や新たなリピーター創出を図ります。

沖縄リピーター交流サイト「沖縄Fun」は、沖縄好きの旅行者が自身の好きなスポットやグルメスポット、お土産品などを紹介できるコミュニティサイトです。観光ガイドブックにはまだ載っていない、まだ知らない沖縄に出会える機会へ繋げることも目的としております。気に入った投稿には「いいね！」ボタンを押したり、シェア機能で投稿を他のSNSで共有して楽しむこともできます。「エリア」「季節」「旅行スタイル」うちなーぐち（沖縄方言）を使った「感情」などのタグを使って投稿・検索できる機能も実装し、興味関心のある投稿を探し次の沖縄旅行に役立つ情報を探すことも可能です。ぜひご覧ください。

また、サイト公開を記念して、宿泊券が当たる投稿キャンペーン・景品が当たるアンケートキャンペーンを2月11日まで実施しております。

■「沖縄Fun」投稿キャンペーン：2023年12月25日（月）～2024年2月11日（日）



沖縄Fun



https://www.okinawastory.jp/feature/okinawa_fun/

お問い合わせ先：国内プロモーション課 TEL：098-859-6125（担当）森田、玉城、黒島 E-mail：kokunai_rosen@ocvb.or.jp

■沖縄離島観光情報サイト「沖縄しまさんぽ」 魅力あふれる島々の魅力に触れる12の記事を公開しました！

OCVBでは、沖縄県より受託して離島観光活性化促進事業の一環で、沖縄離島旅行未経験者層の開拓と離島へのリピーターの再訪を促進することを目的に、沖縄離島観光情報サイト「沖縄しまさんぽ」内に、沖縄離島で体験した「とっておきの体験」や、「これから体験してみたいこと」をテーマにした12本の記事を公開しました。

魅力あふれる島々の個性に触れるととっておきの瞬間を「たからじかん」とし、12の記事を紹介しております。沖縄離島旅の新たな魅力が発見できる、冬でも楽しめるコンテンツとしてお役にください。

また、記事公開に合わせて、離島の特産品詰め合わせセットが当たる「わたしの“たからじかん”キャンペーン」を展開し、沖縄離島で体験したととっておきの体験・これから体験してみたいことわたしの“たからじかん”を投稿してくれた方の中から抽選で10名様に3,000円分の離島特産品をプレゼントするキャンペーンを実施しております。

■わたしの“たからじかん”キャンペーン実施期間：2023年12月1日（金）～2024年1月19日（金）

沖縄しまさんぽ
で見つけた
12の
たからじかん



お問い合わせ先：国内プロモーション課
TEL：098-859-6125（担当）小野、前仲
E-mail：ritohaku@ocvb.or.jp

<https://ritohaku.okinawastory.jp/>

沖縄しまさんぽ



海外プロモーション

人材不足など県内の受入体制の課題等がありながらも着実にインバウンドの入り込みが続いていることからOCVB海外プロモーション課では、よりいっそう賛助会員の皆様と連携しながら、海外からの訪沖プロモーション強化に取り組めます。

1. 第29回 Thai International Travel Fair (TITF#29) について

TTAA (タイ旅行業協会)が主催する「第29回 Thai International Travel Fair (TITF#29)」に沖縄県のブースを出展します。タイの航空会社・旅行会社等が訪日旅行商品を販売する同市場において最大規模の訪日旅行フェアである本イベントには、訪日旅行に関心を持つ多くの一般消費者が来場するため、タイ市場におけるプロモーションの機会として、効果の高いフェアになっています。沖縄のPR及び沖縄需要の市場調査を行い今後の取り組みの検討材料にしていきたいと考えております。

【実施概要】

期 間: 令和6年1月25日(木)～1月28日(日)
主 催: TTAA (タイ旅行業協会)
場 所: クイーン・シリキット・ナショナル・コンベンション・センター (バンコク市内)
来 場 者 数: TITF#28 (令和5年2月16日(木)～2月19日(日))
全体: 30万人うち日本ブース来場者数約1万5000人
日本出展ブース数: 28

会場の様子 (前回)

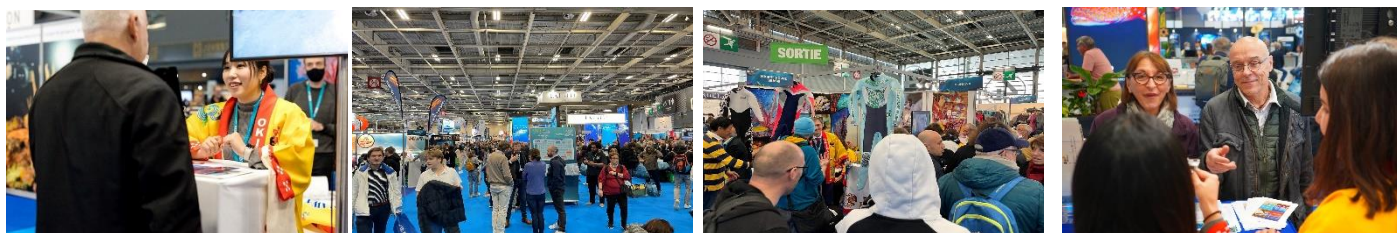


2. フランスダイビング博Salon de la plongée2024に出展

フランス、パリにて開催される国際的なダイビングショーSalon de la plongée2024に沖縄県/OCVBのブースを出展します。沖縄県では、フランス市場向けに日本にあるダイビングデスティネーションとしての沖縄の魅力を継続的にPRしています。コロナ後のフランスにおける訪日意欲が最も高まっている中、沖縄ダイビング事業者と連携し訪沖商品の販売促進を試みると共に、フランスの業界関係者と一般消費者双方に対する沖縄の認知度拡大に取り組めます。

【開催概要】

日 時: 令和6年1月11(木)日～14日(日)
会 場: Paris Expo Porte de Versailles
来 場 者 数: 2022年60,500名が来場、沖縄ブースには700名



会場の様子 (前回)

お問い合わせ先: 海外プロモーション課
TEL: 098-859-6127
(担当): 稲福

E-mail: globalpr-m@ocvb.or.jp

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下、「OCVB」）は、沖縄県が行うSDGsの普及啓発に向けた取り組み「おきなわSDGsパートナー」に登録されております。沖縄観光におけるSDGsの取り組みとして、OCVBから各部署での取り組みを3回に分けて紹介いたします。

今年度最終回にあたる第3回目は、海外プロモーション課、MICE推進課、プロジェクト推進室における取り組み内容を紹介いたします。

海外プロモーション課のSDGsに関する取り組み

海外・MICE事業部

海外プロモーション課

海外プロモーション課では、持続可能な観光地の実現に向けて、プロモーションにおいても環境・地域に優しい観光地のイメージ浸透を図ることを重点的に取り組んでいます。



●Adventure Travel (AT) における沖縄県の自然・文化のプロモーション

ATとは、「自然」「異文化体験」「アクティビティ」の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態です。

海外プロモーション課では、地域の中小事業者様や住民の皆様様に経済・社会的な観点でのサステナブルな効果を創出するATを推進しています。



【ATWSでの琉装体験】



【PSAでのトレッキングの様子】

2023年9月の「Adventure Travel World Summit(ATWS)2023」の Pre Summit Adventure(PSA)において沖縄でのATを体験いただき、ATのデスティネーションとしての関心を向上させました。また、来年沖縄での開催が決定した「Adventure Week in OKINAWA」に向け関係機関と連携し準備を行い、環境と調和したライフスタイルや深い精神性を有する沖縄は最適なATのフィールドであることを世界的に認知いただくため、情報発信を引き続き行っていきます。



●紙資源の削減、環境にやさしいノベルティの製作、地域経済振興への貢献の取り組み

旅行博等イベントにおいて沖縄県の認知度向上・イメージ訴求をねらい配布する紙のパンフレットの代替として、Web上で閲覧可能なデジタルパンフレットへのQRコードを紹介しています。

また、配布するノベルティには廃プラスチックを材料としたものを採用するなど、環境に負荷をかけない取り組みを行っています。

さらに、パンフレットやノベルティの制作にあたっては県内事業者様に発注し、地域経済へ寄与することに努めています。



【デジタルパンフレット案内】

お問い合わせ先： 海外プロモーション課
TEL : 098-859-6127 E-mail : global_pr@ocvb.or.jp



【海洋プラスチック材を使用したボールペン】

MICE推進課のSDGsに関する取り組み①

海外・MICE事業部

MICE推進課

MICEには、その開催によりもたらされる地域への経済効果に加え、イノベーションを生み、ビジネスや研究を促進する力があります。一方、人が集うために移動を伴い、多くの消費活動が営まれることによるCO₂排出や破棄物等、幅広い課題への対応が注目されています。MICE推進課では、MICE開催地として選ばれ続け、進化を続ける沖縄の実現を目指し、サステナブルに関する取り組みを実施しております。

●沖縄MICEプロジェクト2023

沖縄県およびOCVBは、沖縄県でのMICE開催誘致を目的に、国内外からMICEを企画するエージェントを招聘し、沖縄の最新MICEコンテンツの視察、および県内MICE関連事業者との商談会・交流会を開催いたしました。本プロジェクトでは「発展と保全のチャンプルー～変わりゆく中で代わりないものを大切に～」をテーマに、SDGsに関する以下の取り組みを行いました。

交流会実施日：令和5年12月13日（水） 参加バイヤー：国内20名、台湾9名、韓国10名 参加セラー 35社

SDGs17の目標：該当項目	詳細
交流会会場における取り組み 	- 廃校校舎をリノベーションした施設（うるま市HAMACHU）を交流会会場として活用 - 会場の電気使用・発電機使用によって排出されたCO₂591kg-CO₂に対し、J-クレジット制度を活用し1t-CO₂をオフセット - カーボンオフセット実施に伴い、サンゴ保全活動に対する寄付を実施
食への取り組み 	- 地産地消による貢献：地元食材を中心としたメニュー構成 - MSC認証（持続可能な漁業で獲られた水産物）の積極的取り入れ - サンドイッチでロスとなるパン耳をラスクで提供 - グラスワイン用に抜栓したワインの残りをアップサイクルしたサングリアの提供 「廃棄されるおからを価値ある品にしたい」という想いから琉球大学学生が開発した、食べられるスプーン「Pacoon（パクーン）島おから味」を使用 - ハラール及びベジタリアン対応食の提供 - 食品ロス削減を目指し「残さず、おいしく、食べきろう！」3010運動の呼びかけ
コンテンツにおける取り組み 	- 自然環境を活かした星空観察×チームビルディングプログラムの実施 - 地域文化芸能（泡盛試飲ブース設置、琉装体験、現代版組踊「肝高の阿麻和利」の公演）の実施 - 機械に頼らず自然の力を活用した、昔ながらの「流下式塩田」方法で製塩した「うるま市比嘉島の塩壺」、サンゴにも優しい成分で作られた「サンゴに優しい日焼け止め」を記念品として参加者に贈呈
沖縄MICEネットワーク サステナビリティ部会との連携 	主催者、事業者双方のサステナブルな取り組みを支援するツール『沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン』（以下、ガイドラインという）を用いて、当プロジェクトをサステナブルの観点からチェックする取り組みを実施



【会場でのお出迎え】



【芸能公演】



【星空観察】



【MSC認証食材の料理】

【OCVB担当者コメント】

視察ツアーや商談会で紹介する県内事業者様各社のSDGsに配慮したお取組も年々内容が充実してきていると感じます。「交流会」はバイヤー、セラーの交流の場であるだけでなく、実際に沖縄での開催をイメージいただく模擬パーティーでもあります。今回のコンテンツが参考となり、沖縄ならではの持続可能なMICE開催がさらに広がることを期待しています。本プロジェクトの実現にあたり、ご提案・ご調整・ご対応いただいた関係各社様に心より感謝申し上げます。

【サステナビリティ部会コメント】

当部会においてガイドラインに沿って商談会及び交流会を見学いたしました。参加者や通訳のウェアから交流会のアトラクション、飲食、視察ツアーで配布する飲料水に至るまで様々な配慮が見られました。特に飲料水については、事前にご質問いただき、一緒に検討することもできました。こういった検討を重ねることでサステナブルなMICEが広がるのだと実感した催事となりました。ありがとうございました。

MICE推進課のSDGsに関する取り組み②

海外・MICE事業部

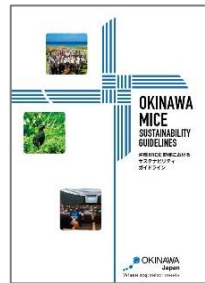
MICE推進課

●沖縄MICEネットワークにおけるサステナビリティ部会の開催

沖縄県・OCVBでは、主催者、事業者双方のサステナブルな取り組みを支援するツールとして『沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン』を策定しています。沖縄MICEネットワークのサステナビリティ部会では本ガイドラインの運用促進・普及活動について検討・運営を図ることを目的に、勉強会開催や県内開催催事の見学会を実施しております。

【沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン】

<https://mice.okinawastory.jp/reason/sustainability/>



【ガイドライン】



【見学会の様子】

●Jクレジット制度を活用したコンgresバッグの製作

サステナブルMICE推進のため、沖縄県内で開催されるミーティング・コンベンションの主催者及び参加者に対して、Jクレジット制度を活用しカーボンオフセットした布製のコンgresバッグを提供しております。今年度においては、製作の過程(原材料調達・輸送・流通)で排出されたCO₂18137kg-CO₂に対し、19t-CO₂をオフセットいたしました。

【ミーティング・コンベンション開催歓迎支援】

<https://mice.okinawastory.jp/support/convention/>



【コンgresバッグ】



【証明書】

お問い合わせ先 : MICE推進課 TEL: 098-859-6130 E-mail: mice@ocvb.or.jp

プロジェクト推進室のSDGsに関する取り組み



企画・施設事業部

プロジェクト推進室

●世界から選ばれる持続可能な観光地沖縄の実現をめざして

プロジェクト推進室では、OCVBの全ての部署及び事業所(グェナ海公園、旧海軍司令部壕)と連携し、弊財団におけるSDGsの取組促進と課題解決に取り組んでおります。また、県内観光関連事業者の皆様を対象としたSDGs普及啓発活動を行っています。

●「ツーリズムEXPOジャパン2023」への出展

去る10月は「ツーリズムEXPOジャパン2023」にて観光SDGsコーナーに初出展し、恩納村のGreen Finsの取組みや宮古島『サステナブルツーリズムガイドライン』、サンゴ礁がCO₂を吸収する様子をリアルタイムで見ることができるブルーカーボンクルーズ等の取組みを紹介しました。ブースには旅行会社、出版社・テレビ局等マスコミ、海外向けメディア等の方々を訪れ、SDGs×観光の最新情報を収集しており、関心の高さがうかがえました。



●OCVBサイトにて「沖縄観光×SDGs」を開設

ウェブサイト「沖縄観光×SDGs」を新たに開設し、OCVB各部署での取組内容のほか、県内3つの事業者様取材し、SDGsの観光商品や取組の詳細を紹介しています。今後もコンテンツを増やしていきますので、皆様のお取組みについてもお気軽に情報をお寄せください。

今後は3月頃に沖縄県との共催にて、持続可能な観光(サステナブルツーリズム)に関するセミナーも実施予定です。詳細が決定しましたら、賛助会員様向けメールマガジン等でお知らせいたしますので、是非ご参加ください。

【沖縄観光×SDGs】

<https://sdgs.ocvb.or.jp/>



お問い合わせ先 : プロジェクト推進室

TEL : 098-851-3868

E-mail : project@ocvb.or.jp

●「観光協会・DMO向けセミナー」開催のお知らせ

地域の魅力や強みを引き出す地域主体の観光振興に資する人材育成を目的に、戦略策定、ブランディング、マーケティング、事業の創造、財源確保等、観光地域経営に必要な知識やスキルを習得するためのセミナーを実施しています。

※観光協会・DMO以外の方にも、オブザーバーとして受講頂けます！

■セミナーのポイント

- ・持続可能な観光地域づくりに向けて、地域連携や財源確保、人材育成といった組織マネジメントの考え方や手法を学び、自らの団体・地域の可能性を探ります。
- ・小規模地域や離島、地域連携DMO など、様々な立場で観光地域づくりに取り組む実務者に登壇頂き、具体的な取組事例を講義頂きます。
自らの地域・団体が抱える課題についてどのように解決しているか、具体事例を共有頂き、実務のヒントを得る機会とします。

■セミナーテーマ

- 第1・2回 12/13（水） 小規模地域における観光地域経営の実践事例
- 第3・4回 12/20（水） 島嶼地域における観光地域経営の実践事例
- 第5回 1/16（火） 観光マーケティング戦略
- 第6・7回 1/24（水） 広域地域における観光地域経営の実践事例

■詳細

・セミナーチラシ : <https://x.gd/MrJnR>

・内容・見どころ紹介: <https://x.gd/nzpGg>

※現地・オンライン併用、受講者限定のアーカイブ配信視聴可
開催済みセミナーの事後視聴も受付中

■応募方法: URLまたはQRコードよりお申込みください

<https://x.gd/hscp7>

こちらからアクセス→



▲先行地域の実務者による具体事例の講義



▲オンライン参加・事後視聴も対応しています

お問い合わせ先: 受入推進課 (担当) 渡辺・池原・金城
TEL: 098-859-6129 E-mail: ukeire2@ocvb.or.jp

●地域魅力発信映画（短編作品）の無料貸出に、視覚・聴覚障害者向けの作品が追加されました

沖縄フィルムオフィスでは、沖縄県の事業で製作された短編映画(地域魅力発信映画)を無料で貸し出しております。
各映画とも1本10～20分程度ですが、様々な物語の中に沖縄の文化や生活などがぎゅっと凝縮されており、ストーリーを楽しみながら沖縄らしい風景や日常を感じることができます。

今回、高山製作所様のご協力を得て以下の3つの作品について視覚障害者向けの音声ガイド、および聴覚障害者向けの日本語字幕が付与されたデータをラインナップに加えることができました。
映画というコンテンツを通して沖縄の魅力を伝えることができる作品を取り揃えておりますので、会員様による県内外での上映会の機会などにぜひご活用ください。

■貸し出しの手続きは[こちら](#)から

各作品ともYouTubeの沖縄フィルムオフィス公式チャンネルで公開していますので、借りる前に試聴することが可能です

■音声ガイド・日本語字幕付の短編映画の試聴は[こちら](#)から(YouTube)



2021年「こんな、菊灯りの夜に」

出演: 山城皆人 監督: 松田正(初恋クロマニオン)



2021年「闘牛女子」

出演: 比嘉あずさ 監督: 真栄平仁



2020年「演じる女」

出演: 満島ひかり 監督: 照屋年之(ゴリ)

YouTubeは画質を制限しておりますが、上映用には高画質で

・DVDやBDなどのハードメディア または

・MP4などのデータ

での貸出を行っています。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先: 沖縄フィルムオフィス (担当) 太田・古波蔵
TEL: 098-859-6162 E-mail: filmoffice@ocvb.or.jp



●【申請期間延長！】MICE専門アドバイザー派遣でMICE受入力UP!

沖縄県・OCVBでは、主催者ニーズ対応力及び技能向上やサービス拡充を図ることを目的に、MICEにおける様々な課題に助言・指導を行う専門アドバイザーを派遣しています。派遣料は無料。申請期間を令和6年1月31日(水)「までに延長しましたので、この機会にぜひご活用ください。詳細はWebサイトよりご確認ください。

<https://mice.okinawastory.jp/information/post-38011/>

お問い合わせ先：当山・山城

TEL：098-859-6130 E-mail: mice@ocvb.or.jp

●沖縄県MICE開催実態調査

沖縄県・OCVBでは、MICE振興を目的に、県内におけるMICE開催の実態を把握するための調査を行っております。MICEを扱う事業者様宛に依頼文書及び調査シートを送付しておりますので、お手元に届いておりますら、回答のご協力をお願いいたします。質問等がありましたらお気軽にお問い合わせください。過去年度報告書は下記URLよりご確認ください。

※個別施設名や主催者名等の情報は非公表とし、情報取り扱いには十分留意いたします。

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/h28mice-chousa.html>

お問い合わせ先：西濱・山城

TEL：098-859-6130 E-mail: mice-survey@ocvb.or.jp

【沖縄MICEネットワーク（OMN）】※OMN会員向け

●学生向けWebページ作成中 自社紹介シート募集中

OMNの令和5年度MICE産業部会では人材育成や、人材確保をテーマに据え、学生向けWebページと動画の製作(令和6年度予定)を行うほか、県内大学への出前講座の実施等に取り組んでいます。つきましては、活動内容に賛同いただき、学生向けに自社紹介をしたい！部会の活動にかかわりたい！というOMN会員皆様の自社紹介シートを募集しています。詳細はWebサイトよりご確認ください。提出締切 令和6年1月31日(水) <https://www.okinawamicenetwork.jp/topics/20231207-4/>

●MICE勉強会・ビジネスピッチ開催 参加者募集中

OMNでは、令和5年度第3回MICE勉強会を開催します。今回は実開催のみでビジネスピッチも併催予定です。会員同士の交流もかねてぜひご参加ください。

日時：令和6年1月30日(火)13:30～16:00(13:00受付開始)

会場：沖縄コンベンションセンター会議場B1

参加申込フォーム <https://forms.office.com/r/AteSxJC1ft>

※登壇希望につきましては事務局に直接メールでお問い合わせください。

お問い合わせ先：当山・新垣・山城

TEL：098-851-3765 E-mail: info@okinawamicenetwork.jp

☆OMNではMICE誘致受入に積極的な事業者、ネットワークを作りたい事業者の加入を随時募集中です☆

活動内容等はWebをご確認ください <https://www.okinawamicenetwork.jp/membership-info/>

●東京事務所MICE営業チームからの声

(コンベンションの動向)

- ・過去に沖縄で開催実績のある主催者を中心に、定期的な情報発信を行っている。感触の悪くない学会もあるが、沖縄でホストとなる先生が欲しいという声もよく聞かれ、県外と併行して県内大学へのアプローチが必要。
- ・国際会議のPCOから、海外からの参加者は家族同伴が多く、同伴者プログラムの需要が高いとの声。

(企業等旅行の動向)

- ・旅行社訪問でこの秋の実績を確認したところ、各社絶好調。特に10月は大人数の社員旅行が多かった。メインはバス1台から2台の規模。ギリギリまでバスが取れず苦慮するも、各社ともに最終的にはなんとか落ち着いた模様。但しレンタカーを数十台つけて代替したケースも確認された。
- ・例年は12月に入って航空料金が落ち着く頃を「狙い目」としておすすめていたが、今年は12月第2週まで混んでいた。バスがギリギリまで手配できず困った、という声も。
- ・1月にも大型社員旅行あり。子会社1,800名が6班に分かれて入る。本社3,000名はグアムとのこと。



皆様のサービス・コンテンツ情報を私達にお寄せ下さい。日々AGTから様々なお問い合わせをいただいております。

(例)次年度開催案件に関するお問合せ

- ・宗教法人の地方大会(5月、平日2日間、約6,000名)会場探し
- ・大型社員旅行(7月、500名×2班)ケータリング会社探し
- ・不動産関連企業(8月、300名×3班)観光だけでなく、社会貢献する活動がしたいとの声。

観光目的税・沖縄観光親善大使制度の見直しに関する取組

観光目的税(宿泊税)導入に関する取り組み

沖縄県が 2026 年度(令和 8 年度)からの導入を計画している宿泊税の検討にあたって、沖縄観光の発展に寄与する制度となるよう、業界とのワーキンググループや沖縄ツーリズム産業団体協議会からの意見を取りまとめ、意見書として沖縄県へ手交しました(11 月 8 日)。

意見書では、用途を明確にすることや県と観光業界が定期的に話し合う協議会を開いて議論することなど、直接的な関係者である観光業界の意見を踏まえた制度の設計を求めました。

【意見書内容】

1. 税導入の目的について
2. 税率について
3. 課税免除対象について
4. 財源の種別及び用途について
5. システム導入への対応について
6. 税導入後の運用体制について
7. 税導入に向けて協議継続の場の設置について



今後も提言内容をベースに沖縄県との調整を進めてまいります。

沖縄観光親善大使制度の見直し

OCVB では、2023 年度より「沖縄観光親善大使ミス沖縄」を休止していましたが、新たな形での観光 PR のあるべき姿を目指すため、外部有識者による検討委員会を設置し、6 月、8 月、9 月と 3 回の検討委員会を開催しました。10 月 4 日に提言書の手交を受け、新たな観光大使制度の検討を開始しており、

来年度より新制度での運用を目指しています。

【提言内容】

- 1 新たな大使制度について
- 2 大使の活用について
- 3 既存のキャラクターについて
- 4 情報発信の多様化について
- 5 効果検証について
- 6 収支運営について

【実施報告】帰宅支援対策運用図上訓練(11月14日(火)実施済み)

令和5年11月14日(火)沖縄空手会館にて、行政機関・観光関連団体・事業者を対象に帰宅支援体制運用図上訓練を実施しました。今年度は、34機関114名の皆さまにご参加いただき、観光客帰宅困難者をどのように帰宅させるかをメインテーマに掲げ、帰宅支援対策運用図上訓練を実施いたしました。

沖縄が災害時に置かれる状況を理解し、いかに早く観光客を帰すための検討が重要かを改めて認識していただく機会となりました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

来年度も実施予定となっておりますため、改めて案内がありましたら、ご参加検討いただけますと幸いです。

●ハワイマウイ島山火事に対する支援金について～ハワイ州観光局日本支局への贈呈式を実施しました～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(会長:下地芳郎、以下OCVB)は、去る8月8日にハワイのマウイ島西部で発生した山火事を受け、沖縄観光はハワイを参考に様々な取り組みについて進めてきたという交流の歴史を鑑み、1日も早いマウイ島の復旧、長期的な人道支援に役立てていただくため、OCVB賛助会員及び県内観光業界を中心に8月25日より「ハワイマウイ島山火事」に対する支援金を募集してきました。

募集開始直後から、多くの関係団体や企業、個人からの善意の支援金を寄せられました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

この度、第1弾といたしまして、令和5年12月7日(木)に「ハワイ州観光局(Hawaii Tourism Authority:HTA)日本支局」を通して「マウイストロング基金」に、皆様を代表いたしまして当財団会長 下地芳郎から寄付を行い、下記の通り贈呈式を実施いたしました。

■概要

日時: 令和5年12月7日(木)11時30分

場所: ハワイ州観光局 日本支局(〒102-0082 東京都千代田区一番町29-2 一番町進興ビル1 階)

贈呈者: 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地 芳郎

贈呈金額: 250万円

ご対応者: ハワイ州観光局日本支局 局次長 寺本 竜太 様

■下地会長コメント

「この度の山火事で亡くなられた方に深い哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。戦前から沖縄とハワイは移民を通しての交流があり、戦後の苦しいときにはハワイに渡った県系人の皆さんに支えていただき、ハワイから観光を学んできた歴史があります。今回の被害を受けて、沖縄の観光業界の関係者をはじめ多くの方が心を痛め、沖縄ハワイ協会を通して多くの寄付が集まっていると聞いています。これを機にさらに沖縄とハワイの絆は深まっていると感じています。これからも観光を通して、沖縄とハワイの交流を積極的に行っていきたいと思っております。」

■寺本局次長コメント

「沖縄をはじめ日本とハワイは、島国であることなど共通点も多く、コロナ禍でハワイの観光がストップした後も日本からのお客様が一番に戻ってきていただき、今回の山火事を受けても多くの温かいご支援、お言葉を頂戴しています。復興まで先は長いと思いますが、今まで以上にハワイと日本の絆は深まっていると思いますので、この関係性を後世まで伝えていき、いただいた支援金に皆様のお気持ちを添えて現地に届けていきたいと思っております。」



ご協力ありがとうございました！
1日も早いハワイ・マウイ島の
復旧・復興をお祈り申し上げます



お問い合わせ先：
総務・経理課 (担当) 具志堅
TEL : 098-859-6124
E-mail : pr@ocvb.or.jp



マハ朗

＼ 12月より試験運用開始しました／

各賛助会員間で共同利用できる コミュニケーションツール(Teams)を活用した 賛助会員交流掲示板システム



花笠マハエ

従来の賛助会員メールマガジンでは叶わなかったOCVBからの速やかな情報の共有と取りこぼしの削減、賛助会員様からの情報発信、賛助会員様同士のマッチングを可能とする掲示板システムを新設し、昨年12月より試験的に運用を開始しました。メールマガジンよりも早く、より手軽にOCVBからの情報を情報を受け取れるだけでなく、賛助会員さまからの情報発信も可能です。
掲示板利用にあたり、新たな費用のご負担はございません。下記手順を参考に、登録申込みください！
みなさまのご登録を心よりお待ちしております。

※従来の「賛助会員メールマガジン」「賛助会員ニュース」はTeams掲示板へと順次移行いたします。

■案内文書(詳細はこちらをご確認ください)

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb231205.pdf>



■利用規約(登録前に必ずお読みください)

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120502.pdf>



■登録マニュアル

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120503.pdf>



実際の画面



Teams掲示板を使うことで、
様々な情報を瞬時に
受け取れます！

情報発信

セミナーご案内

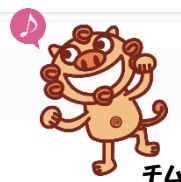


マッチング

危機管理



ククル



チム

お問い合わせ先：

総務・経理課（担当）具志堅・久我・金城・又吉

TEL：098-859-6124 E-mail：sanjo@ocvb.or.jp

●首都圏の沖縄イベント情報

【東京都】

・1/17(水)～23(火)

沖縄地域観光&物産フェア(離島)／JR東京駅改札内グランスタ東京スクエアゼロ

・2/3(土)、4(日)

沖縄リゾートウエディングフェア／東京ベルサール六本木



チム ©OCVB



●おきなわ旅セミナー、自治体PRコーナー、一般の方向け観光案内等OCVB東京事務所をご活用ください！

OCVB東京事務所では、一般のお客様向けにおきなわ旅セミナー(ミニセミナー)を開催しております！各地のおすすめスポットなど“旬”の情報や沖縄の伝統・文化について紹介しています。今後も県内の地域や魅力をピックアップし実施していきます！

【2023年度の開催実績】

- 7月 うるま市編 (講師:うるま市役所)
 9月 沖縄の工芸編 (講師:沖縄県商工労働部)
 10月 泡盛編 (講師:沖縄県酒造組合)
 12月 読谷村編 (講師:読谷村観光協会)
 名護東海岸編 (講師:わんさか大浦パーク)

沖縄の工芸編の様子



PRコーナー同時展開

また、観光案内スペースではPRコーナーを設置しております。PR動画の上映や各種パンフレット配布などを通してお客様の旅行計画につながるようお手伝いをさせていただきます。OCVB東京事務所を活用したいというご要望がありましたらお気軽にお知らせください。

【OCVB東京事務所の公式SNSサイト】

フォロワー数(R5.12/21時点)

X(旧Twitter):2,577人

Facebook:4,044人

◆Facebook



◆Twitter



※写真はイメージです。※情報は変更になることがあります。

お問い合わせ先:東京事務所(担当)大嶋・呉屋・土屋

TEL:03-5220-5311 E-mail: tokyo@ocvb.or.jp

OCVB 施設概況

ブセナ海中公園(海中展望塔・グラスボート)

<https://www.busena-marinepark.com/>

令和5年度のブセナ海中公園でのサンゴ植付の取組状況について

ブセナ海中公園では、観光産業にとって重要な観光資源の1つであるサンゴ礁の再生・保全を目的に、サンゴの植付に取り組んでおり、今年度の取組状況をご紹介します。

サンゴ植付実施にあたり、昨年度からアラムコ・アジア・ジャパン株式会社による沖縄県サンゴ礁保全推進協議会からの助成支援を受け、ザ・テラスホテルズ株式会社と共同でサンゴ植付を実施しています。

1 エダコモンサンゴの植付

令和5年10月にエダコモンサンゴの植付を行いました。植付で使用したエダコモンサンゴは、ブセナ海中公園海域内に生息する個体を採捕しています。昨年度から実施している「メッシュポットを使用した植付方法」に加え、今年度は「棒状杭にエダコモンサンゴを固定した方法」でも植付を実施しています。



※サンゴ植付の取組実施においては、沖縄県の関係部局とも調整の上、実施しています。

2 シコロサンゴの中間育成

令和5年10月よりシコロサンゴの中間育成をブセナ海中公園海域内で実施しています。シコロサンゴは海の種(読谷)より提供いただき、簡易設置型の着床具に活着させています。

気温が暖かくなり始める3月頃に植付を予定しています。



3 ハナヤサイサンゴの有性生殖

令和5年9月にハナヤサイサンゴをブセナ海中公園海域内で採捕し、有性生殖を利用した植付に向けて中間育成を行っています。

気温が暖かくなり始める3月頃に、ハナヤサイサンゴも植付を予定しています。

お問い合わせ先:ブセナ海中公園事業所 TEL:0980-52-3379 E-mail: busena@ocvb.or.jp

営業時間:夏期(4～10月) 9:00～18:00(最終入館17:30) 冬期(11～3月) 9:00～17:30(最終入館17:00) 定休日:なし *海況により営業中止あり

旧海軍司令部壕は、第二次世界大戦の末期、海軍が小禄飛行場を守るために造った重要な軍事拠点であり、那覇市内、空港からも近い平和学習の場です。海軍壕公園は、東シナ海、那覇市街、首里城が展望できる高台にあり、琉球王国時代には「火番森(ヒバンムイ)」と呼ばれ、中国や薩摩等からの来航を首里城に伝えるために「のろし」を上げる通信拠点でした。現在は市民の憩いの広場として、また恒久平和の祈りの場所として整備され、多くの市民に親しまれています。※現在大型遊具は再整備工事のため利用できません。



旧海軍司令部壕

●第5回遺骨発掘収集作業実施について（最終回）

旧海軍司令部壕では、戦没者の遺骨調査・収容活動を主な事業とするNPO法人空援隊と協力し、2022年10月以降、計4回にわたり未公開壕の遺骨収集作業を実施してきました。この度、第5回遺骨収集作業を実施することになりました。まだ参加されていない方や参加できなかった方もこの機会にご協力いただければと思います。※1日だけの参加でも可能です

■日時: 2024年1月20日(土)から1月28日(日) 各日8:00から17:00

詳細は右記のQRコードよりご確認をお願いいたします。旧海軍司令部壕の新着情報に遷移いたします。



●これまでに発掘された遺留品の一部



歯ブラシと歯ブラシ入れ



高橋水長と書かれた石鹼箱



陶器製手りゅう弾



海軍士官用正刀帯バックル



火炎放射器のノズル



注射器、点滴、医薬品等



割れずに見つかったアンプル



ガスマスク等



機関銃の弾倉と弾薬

お問い合わせ先： 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 旧海軍司令部壕事業所 営業 9:00～17:00（最終入館16:30） 定休日 なし
電話 098-850-4055 FAX 098-850-9342 メール kaigunou@ocvb.or.jp

「県内在住者限定割引」実施中！ 施設観覧料20%割引

沖縄県民の皆様にご施設をご利用頂き、沖縄の魅力を再発見して頂きたいと思っています。賛助会員皆様のご利用を心よりお待ちしております。※県内在住を証明できる免許証等の身分証明書を、チケット購入時にご提示ください。

沖縄県で実施する人材確保に向けた支援事業

2023/12/25 現在

事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1 観光人材マッチング支援事業	観光現場における様々な取組を伝える広報を行うとともに、観光事業者と学生等を含む求職者とのマッチングを促進する。 ①観光現場の様々な取組の広報 ②合同就職説明会等の実施 ③職場訓練(インターン)の受入支援 (往復分の渡航費支援あり)	観光業界	https://kankoujinzai-okinawa.com/	文化観光スポーツ部 観光振興課 Tel 098-866-2764
2 観光事業者労働生産性向上支援事業	観光事業者を対象に、労働生産性向上に資する取組に必要な経費を補助する。なお、補助率は対象経費の2/3とし、上限1,000万円を補助。補助件数は15件を予定。 今年度分は終了。R6年度も実施予定。 事業スキーム等が決まり次第、県HP、メール等により周知予定。	観光業界	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/shigen/seisannsei.html	
3 沖縄県プロフェッショナル人材確保支援補助金	プロフェッショナル人材戦略拠点(通称:人材ちゃんぶるー)を設置し、豊富な経験や知識を持つプロフェッショナル人材の活用を通して県内中小企業が経営課題の解決や生産性の向上を図ることを応援。プロ人材の活用に必要な経費の一部を補助する補助金を以下の内容で実施。 【①プロ人材を雇用する場合】 登録人材紹介事業者の利用に係る人材紹介手数料の2分の1を補助 (上限額:50万円) 【②プロ人材を副業・兼業で活用する場合】 登録人材紹介事業の利用に係る人材紹介手数料及び渡航費の2分の1を補助 (上限額:10万円) ※人材紹介手数料と渡航費の合計額の上限	全産業	https://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/seisaku/kikaku/projinzai/purojinzaiojyokin.html	商工労働部 産業政策課 Tel 098-866-2330
4 若年者人材確保・定着総合支援事業	企業の人材確保及び職場定着の取組を促進するための相談窓口設置、専門家派遣、セミナーの実施。現在、セミナー参加等受付中。取組事例もHPで公開中。	全産業	https://okinawa-wakamono.com/	商工労働部 雇用政策課 Tel 098-866-2324
5 外国人材受入企業支援事業	外国人材を受入れたい企業を対象に、相談窓口の設置、セミナー開催、ガイドブック配布。	全産業	https://www.yuiyui-gaikokujinzai.com/	
6 女性の就職総合支援事業	ひとり親を含む女性求職者を対象に、託児機能付き座学研修、短期雇用契約による職場訓練、合同企業説明会を実施中。職場訓練や企業説明会の登録企業も随時募集中。	全産業	https://www.shigoto-support.jp/	
7 正規雇用採用力向上モデル事業	正規雇用に取り組む企業を対象に、採用コンサルタント等の派遣による採用面の支援を実施。また、マッチングイベントも実施予定。 ※令和5年5月～令和6年1月まで、支援企業を募集中。	全産業	https://saiyou.okinawa/	

【ご案内】新規入会：HIYORIオーシャンリゾート沖縄さま 株式会社ジャパンエンターテイメントさま 株式会社タイミーさま
株式会社SeaSkyさま 株式会社イノアック琉球さま 一般社団法人 伊平屋島観光協会さま 株式会社スペースさま
株式会社サガミトレーディングオキナワさま

◇市町村(会員様数:41)	一般社団法人いげな島観光協会 一般社団法人八重山ビタースビューロー 一般社団法人北中城村観光協会 一般社団法人宜野湾市観光振興協会 一般社団法人栗国村観光協会 一般社団法人伊江島観光協会 一般社団法人中城村観光協会 一般社団法人多良間村ふしやぬふ観光協会 一般社団法人大宜味村観光協会 嘉手納町観光協会 一般社団法人伊平屋島観光協会	株式会社ラジオ沖縄 株式会社沖縄タイムス社 株式会社琉球新報社 有限会社沖縄観光速報社 沖縄テレビ放送株式会社 株式会社RBCビジョン ダイバー株式会社	株式会社東亜旅行社 株式会社万栄商事 e旅遊株式会社 株式会社たびのレシビ 沖縄支店 株式会社EGL OKINAWA 株式会社富士ツーリスト 株式会社結トラベル パイオニア合同会社 ラド観光株式会社 沖縄営業所 株式会社セルリアンブルー 株式会社ジャルパック 株式会社J-NABI 東武トップツアーズ株式会社 沖縄支店 株式会社JSC 株式会社HANATOUR JAPAN 株式会社信恒商事 Ever Green Travel株式会社 株式会社嘉翔ツーリズム ヒルトン・グランド・パケーションズ オリオンツアー 株式会社SEEC WAmazing株式会社 グランシーノ株式会社 株式会社旅工房沖縄 株式会社SeaSky
◇各種団体(会員様数:40)	沖縄県商工会連合会 那覇商工会議所 沖縄県飲食業生活衛生同業組合 宜野湾市商工会 一般社団法人沖縄県造園建設業協会 JA沖縄中央会 沖縄県舞台運営事業協同組合 一般財団法人沖縄美ら島財団 公益社団法人日本青年会議所沖縄地区協議会 西日本高速道路株式会社・九州支社・沖縄高速道路事務所 一般社団法人沖縄旅客船協会 一般社団法人沖縄県レンタカー協会 一般社団法人全国個人タクシー協会 沖縄支部 OTSパートナーズネットワーク JTブレキオス会 日本旅行沖縄赤い風船会 阪急交通社国内旅行推進協力会 沖縄支部 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 KNT-CTパートナーズ会沖縄連合会 JTB協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会 農協観光協定旅館ホテル連盟・協力みのり会 沖縄県支部 一般社団法人沖縄県サッカー協会 一般社団法人沖縄県ホテル協会 沖縄県酒造協同組合 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会 一般社団法人日本旅行業協会 沖縄支部 名鉄観光協定旅館ホテル連盟 沖縄支部会 一般社団法人美ら島観光施設協会 沖縄県エステティック・スパ協同組合 島のわ通信実行委員会 一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 一般社団法人全国旅行業協会 沖縄県支部 一般財団法人沖縄マリンレジャーセーフティビューロー 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター 沖縄県酒造組合 一般社団法人沖縄県バス協会 日本旅行協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会 一般社団法人沖縄県経営者協会 一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク	◇運輸・交通(会員様数:26) 株式会社ソラシドエア 全日本空輸株式会社 沖縄支店 琉球エア・コンピューター株式会社 エクスセル航空株式会社 琉球海運株式会社 沖縄バス株式会社 中部観光バス株式会社 株式会社北部観光バス 株式会社小禄運輸 観光バス事業部おろくバス 有限会社かりー観光 株式会社沖縄交通 株式会社沖ーハイヤー 有限会社ウエストマリン 沖縄都市モノレール株式会社 東陽バス株式会社 有限会社美ら島 美ら島観光バス 沖東交通事業協同組合 三和交通株式会社 伊江島観光バス株式会社 スカイマーク株式会社 株式会社琉球バス交通 日本航空株式会社 沖縄支店 日本トランスオーシャン航空株式会社 マリックスライン株式会社 沖縄NXエアカーゴサービス株式会社 東京バス株式会社	◇レンタカー・レンタルバイク(会員様数:18) オリックス自動車株式会社 有限会社なはレンタカー 株式会社フジレンタカー 株式会社エービーシーサービス ABCレンタカー イン・リンク株式会社 有限会社ウイリー 沖縄輪業株式会社 有限会社サキハマ 株式会社日産レンタリース沖縄 スカイレンタリース株式会社 ニッポンレンタカー琉球株式会社 株式会社グッドスピード 有限会社TM.Planning 株式会社R&A (沖縄プレミアムレンタカー) HVLレンタリース株式会社 株式会社トヨタレンタリース沖縄 株式会社セレブ セレブレんたカー ヒートスポーツレンタカー
◇観光協会等(会員様数:36)	一般社団法人石垣市観光交流協会 一般社団法人糸満市観光協会 一般社団法人浦添市観光協会 一般社団法人うるま市観光物産協会 NPO法人おおぎみまるとツーリズム協会 一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 一般社団法人久米島町観光協会 一般社団法人北谷町観光協会 一般社団法人豊見城市観光協会 公益財団法人名護市観光協会 NPO法人東村観光推進協議会 一般社団法人南大東村観光協会 与那国町観光協会 一般社団法人ヨロシ島観光協会 一般社団法人恩納村観光協会 一般社団法人座間味村観光協会 一般社団法人南風原町観光協会 一般社団法人宜野座村観光協会 一般社団法人今帰仁村観光協会 一般社団法人那覇市観光協会 一般社団法人宮古島観光協会 一般社団法人本部町観光協会 一般社団法人読谷村観光協会 一般社団法人南城市観光協会 一般社団法人金武町観光協会	◇旅行(会員様数:50) 株式会社エイチ・アイ・エス沖縄 有限会社沖縄スカイ観光サービス 沖縄ツーリスト株式会社 クラブツーリズム株式会社 KNT-CTホールディングス株式会社 株式会社国際旅行社 国際旅運株式会社 株式会社進吾(ジーン) JINOTOUR 株式会社JAL JTAセールス 株式会社ジェイトリップ 株式会社ジャパンホリデートラベル 株式会社ジャンボツアーズ 株式会社日本旅行沖縄 株式会社阪急交通社 株式会社ホワイト・ベアファミリー 楽天株式会社 平田観光 株式会社リウボウ旅行サービス 漫遊沖縄株式会社 日新航空サービス株式会社 株式会社中央ツーリスト T-LIFEホールディングス株式会社 株式会社メリットトレーディング 株式会社JTB沖縄 株式会社スカイツアーズ	◇金融・流通・建設・配送(会員様数:17) 有限会社島運送 有限会社小川保険事務所 株式会社おきぎんジェーシービー 株式会社沖縄海邦銀行 大同火災海上保険株式会社 株式会社琉球銀行 株式会社南海エクスプレス 沖縄営業所 沖縄振興開発金融公庫 琉球通運株式会社 株式会社大林組 沖縄営業所

損害保険ジャパン株式会社 沖縄支店	NPO法人自然体験学校	星のや竹富島	株式会社サン・エージェンシー
株式会社國場組	株式会社がんじゅう	アートホテル石垣島	株式会社尚生堂
株式会社沖縄銀行	有限会社北谷金城 焼肉金城	南の美ら花ホテルミヤヒラ	株式会社城野印刷所 沖縄営業所
有限会社朝日興業企画	城紅型染工房	ホテルグランビュール石垣新川	新星出版株式会社
株式会社東洋設備	DMMかりゆし水族館	石垣シーサイドホテル	株式会社スカイ企画
株式会社ビートレーディング	ヤンバルンチャー	はいむるぶし	株式会社宣伝
株式会社スペース	笹桐庵/SASAGIRIAN	アイランドホテル与那国	第一印刷株式会社
	ひめゆり観光センターでいご	ローヤルホテル	株式会社電通沖縄
	イース沖縄豊崎(大和ハウスリアルティマネジメ ント株式会社)	株式会社ロイヤルマリンパレス	株式会社東洋企画印刷
	釣って見つけるぼうけんの国	ヒルトン沖縄北谷リゾート	株式会社トモエ
	万座毛株式会社	那覇東急REIホテル	株式会社明治アドエージェンシー
	バナナパラダイス 那覇空港店	スマイルホテル沖縄那覇	株式会社BBDO J WEST 沖縄支店
◇観光施設・飲食・土産品(会員様数:74)	株式会社 日本パイオテック	沖縄ホテル	株式会社ヒラヤマ
株式会社アムズシーヴィエス	南城美術館	ウィークリーハーバービューマンション本館	株式会社プロダクツ・プランニング
有限会社うえち	株式会社 ジャパンエンターテイメント	ザ・ビーチタワー沖縄	丸正印刷株式会社
ステーキハウス88グループ 株式会社沖縄テクノ クリエイト		株式会社守礼	株式会社ブレイン沖縄
株式会社グレートイースタン		モリマリリゾートホテル (株式会社モリマリリゾート)	株式会社琉球新報開発
琉球料理と琉球舞踊 四つ竹 株式会社社幸		ホテルみゆきビーチ	株式会社ワイド
株式会社ジェイシーシー		本部グリーンパークホテル・ゴルフ場	株式会社琉球若草
有限会社ちぬまんフーズ		石垣島ビーチホテルサンシャイン	沖縄企業株式会社
フォーモストブルーシール株式会社		ネイチャーみらい館	来來琉球
レストショップ 琉球の館		ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート	株式会社リマープロ
ナゴバйнаップルパーク (株式会社名護バイン園)		ホテルロイヤルオリオン	リッツプロ株式会社
株式会社南都	◇宿泊施設(会員様数:123)	アルモントホテル那覇・県庁前	株式会社インディボンドネットワークス
ひめゆり平和祈念資料館	ロワジールホテル&スパタワー那覇	ハイアットリージェンシー那覇沖縄	株式会社デイリー・インフォメーション
株式会社マレア・クリエイト (宜野湾マリン支援 センター)	パシフィックホテル沖縄	HOTEL AZAT	株式会社国際印刷
中村家住宅(国指定重要文化財中村家住宅)	沖縄ハーバービューホテル	ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城	株式会社社翔コビーセンター
体験王国 & ホテル むら咲むら(株式会社読谷 ククルリゾート沖縄)	株式会社かりゆし	ホテルグレイスリー那覇	株式会社真宣組'
沖縄フルーツランド株式会社	ホテルサン沖縄	ワンスイートホテル&リゾート古宇利島	株式会社ファンファレ・ジャパン
ネオパークオキナワ (名護自然動植物公園株 式会社)	ホテルサン那覇	海の旅亭おきなわ名嘉真荘	有限会社べんぎん
株式会社森のガラス館	ホテルJALシティ那覇	株式会社前田産業	DESIGN OFFICE エイマツト
株式会社優美堂	南西観光ホテル	ジョイホテルマネジメント(株式会社ジョイ)	株式会社バム・コウクリエーション
沖縄アウトレットモールあしびなー(大和ハウスリ アルティマネジメント株式会社)	リーガロイヤルグラン沖縄	ホテルライジングサン宮古島	株式会社池宮商会
豊崎ライフスタイルセンター TOMITONテナント会 (株式会社ザイマックス九州)	リッチモンドホテル那覇久茂地	さくらリゾートホテル石垣	株式会社旭堂
沖縄ディーエフエス株式会社	メルキュールホテル沖縄那覇 (那覇インバスト メント合同会社)	国立沖縄青少年交流の家	有限会社沖縄マーケットプランニング
ANA FESTA株式会社 沖縄店	琉球サンロイヤルホテル株式会社	合同会社コンフォート雅 (民宿村コンフォート雅)	有限会社福琉印刷
株式会社タイラ	アルモントホテル那覇おもろまち	東横イン那覇旭橋駅前 (株式会社東横イン)	株式会社正広コーポレーション
株式会社琉民	東横INN那覇国際通り美栄橋駅	ホテルルートイン那覇泊港	沖縄高速印刷株式会社
株式会社沖縄県物産公社	ダイワロイネットホテル那覇国際通り	ハレクラニ沖縄	有限会社中部電算フォーム
株式会社御菓子御殿	株式会社西鉄ホテルズ	ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄	株式会社GRT
株式会社沖縄黒糖	COMMUNITY & SPA 那覇セントラルホテル	ノホテル沖縄那覇	株式会社アドップ
On the Beach CAFE(有限会社ハッピー)	株式会社バームロイヤル	天慈国際健康管理株式会社	株式会社ワンダーリ्यूキュー
ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校	株式会社パームロイヤル	ホテルコレクティブ	株式会社ジョイイン沖縄
株式会社アジマ	ダイワロイネットホテル沖縄県庁前	JR九州ホテル ブラッサム那覇	株式会社イー・ステート・オンライン
株式会社ナンポー	株式会社ホテルグランビュール	東急ステイ沖縄那覇	有限会社ウエスト沖縄
東南植物楽園	ホテルオーシャン	株式会社邦企画開発	IJU株式会社
公益財団法人沖縄協会 (沖縄平和祈念堂)	ホテルパークスタジアム那覇	ホテル星立西表島(株式会社HEAトラストグループ)	有限会社太陽印刷
イオンモール沖縄ライカム	ホテル沖縄withサンリオキャラクターズ	スマイルホテル那覇シティリゾート	株式会社エンジョイOKINAWA
味と踊りの竜宮城うらしま	沖縄GRGホテルズ株式会社	東横イン那覇おもろまち駅前	
有限会社キャプテンズグループ	一般財団法人沖縄県青年会館	株式会社東横イン那覇新都心おもろまち	
株式会社フードサービスもとぶ	サザンビーチホテル&リゾート沖縄	リゾート琉球株式会社	
有限会社料亭那覇	ユインチホテル南城	沖縄UDS株式会社	
琉球ガラス村	ソルヴィータホテル那覇	星のや沖縄	
沖縄県観光事業協同組合	ダブルツリーbyヒルトン那覇	ヒルトン沖縄瀬底リゾート	
恩納ガラス工房 (株式会社恩納ガラス工芸育 成センター)	ラグナガーデンホテル	アンサ沖縄リゾート	◇情報通信・IT(会員様数:21)
恩納海浜公園ナビビーチ	ベッセルホテルカンバーナ沖縄	ベストウエスタン	株式会社オーシーシー
ピオスの丘	株式会社KPG HOTEL & RESORT	レクー沖縄北谷スパ&リゾート	株式会社国建システム
有限会社首里琉染	株式会社EMウェルネスリゾート	ブセナリゾート株式会社	株式会社グローバルボタニクス
株式会社琉球民芸センター	Royal Hotel 沖縄残波岬	有限会社とかしくマリンビレッジ	Gネットワーク株式会社
株式会社ファッションキャンディ	ホテル日航アリビラ	ヒューイットリゾート那覇	株式会社沖縄映像センター
道の駅許田 (やんばる物産株式会社)	リザンシーパークホテル谷茶ベイ	株式会社ピース企画	NTT西日本 沖縄支店
伊計島総合開発株式会社	ANAインターコンチネンタル 万座ビーチリゾート	株式会社南西楽園リゾート	株式会社オキット
有限会社やんばる自然塾	レナトゥアスリゾートオキナワ	OMO5沖縄那覇by星野リゾート	ノイズ・バリュー社
株式会社おきなわ屋	ムーンホテルズアンドリゾート株式会社	沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん	株式会社リゅう
株式会社U-MORE (島しやぶしやぶNAKAMA)	オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ	ホテル・アンドルームス那覇ポート	株式会社ブレイン
株式会社 徳慶	かねひで恩納マリンビューパレス	琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ	株式会社ジエニッククリエイション
琉球村 (多幸山株式会社)	シェラトン沖縄サンマリーナリゾート	HIYORIオーシャンリゾート沖縄	NO MARK Inc.
株式会社エーデルワイス沖縄	カヌザリゾート	◇印刷・広告(会員様数:61)	テトラビット
東村ふるさと振興株式会社	ザ・テラスホテルズ	有限会社アートプリント	沖縄Hibi(ハイビ)
株式会社ashibi enterprise	ザ・リッツ・カールトン沖縄	有限会社アイディー・ブランド	富士通Japan株式会社 沖縄支社
株式会社沖縄物産企業連合	かねひで喜瀬ビーチパレス	株式会社アカネクリエイション	エイキューリンクス株式会社
株式会社いえじま家族	ホテルリゾネックス名護	あけぼの印刷株式会社	キッセイコムテック株式会社
	ホテルゆがふいんおきなわ	株式会社アドスタッフ博報堂	株式会社 KAFLIX CLOUD
	ホテルマйна ウェルネスリゾートオキナワ	株式会社うるま印刷	株式会社タップTHL 沖縄事務所
	ロイヤルビューホテル美ら海	株式会社エマエンタープライズ	ガリルオスコープ株式会社
	リゾートホテル・ベル・パライソ	沖縄インデックス	株式会社タイミー
	YYY CLUB IE RESORT	沖縄広告株式会社	
	オクマプライベートビーチ&リゾート	協同組合沖縄産業計画	
	株式会社宮古島東急ホテル&リゾート	株式会社近代美術	
	ANAインターコンチネンタル石垣リゾート	光文堂コミュニケーションズ株式会社	
	クラブメッド 石垣島	有限会社サン印刷	

◇マリンレジャー・スポーツ(会員様数:22) ザ・サザンリンクスゴルフクラブ (株式会社アコディアAH02) かねひで喜瀬カントリークラブ 株式会社シーサー (マリンハウスシーサー) 有限会社トップマリン残波 TOTAL MARINE SPOT NEWS 有限会社ぶいぬしめ mic21株式会社 アブリシエイト スカイスーツプランニング ブルースカイ 有限会社タイド 一般財団法人健康科学財団 株式会社バディ・アジア・パシフィックジャパン 株式会社シーボウル (マリンクラブUMI) 黒潮潜水 (株式会社Hearly) サマーリゾート沖縄 株式会社ベイスオブスポーツ 株式会社南洋社中 (沖縄海あしび) アーリーワールド株式会社 (ディーズパレス沖縄) 株式会社NASH 株式会社ブルーフィールド ダイビングサービスジャミング ブルースタイル株式会社	一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会 ◇卸・小売・販売(会員様数:33) オリオンビール株式会社 くーすの社 忠孝蔵 まさひろ酒造株式会社 株式会社サンエー 株式会社プラザハウス 株式会社奥原商事 パイフニット株式会社 笹尾商工株式会社アウトドアショップNEOS 沖縄食糧株式会社 オキコ株式会社 株式会社パラダイスプラン 株式会社フジタカリエイション パナソニック コンシューマーマーケティング沖縄株式会社 株式会社チエリオ沖縄 株式会社琉仁カスターマーサービス 株式会社JTB商事 株式会社沖縄伊藤園 サントリースーツ沖縄株式会社 株式会社サッポロドラッグストア 株式会社ホクガン 株式会社ジュネ 福山商事株式会社 有限会社比嘉酒造 瑞泉酒造株式会社 株式会社ジムキ文明堂 株式会社久米島の久米仙 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 OTMグループ(沖縄県トヨタグループ) コジマ×ビックカメラ那覇店 株式会社CHKIT 株式会社エス・ティ商事 プロモーションジャパン株式会社 (株)サガミトレーディングオキナワ	◇人材派遣・翻訳・通訳(会員様数:8) 株式会社リクルートライフスタイル沖縄 有限会社オフィスアイシーシー 株式会社ブレンディー 株式会社沖縄リレーションシップ 株式会社チャイナゲートウェイ 株式会社マイナビ 沖縄支社 株式会社沖縄コングレ 株式会社アールアールシー ◇学術・研究・コンサル(会員様数:10) 株式会社おきぎん経済研究所 株式会社DUO ブルームーンパートナーズ株式会社 株式会社エス・ビー・ネットワーク沖縄営業所 一般社団法人真玉橋ノブ研究所 株式会社サンダーバード 株式会社りゅうぎん総合研究所 公益財団法人日本交通公社(JTBF) 有限会社アンテナ オフィスKIBOU株式会社 ◇企業・その他(会員様数:41) あいあいウェーティング沖縄(樹アメニティ) 株式会社アイレント IMAGE 株式会社アルファスリー 沖縄ガース株式会社 沖縄セルラー電話株式会社 富士フィルムBI沖縄株式会社 沖縄総合警備保障株式会社 沖縄綿久寝具株式会社 株式会社DMC沖縄 株式会社桃原農園 那覇空港ビルディング株式会社 株式会社日進商会(MAJUN OKINAWA) 株式会社ビジネスランド 琉球警備保障株式会社	株式会社りゅうせき 医療法人タビック 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社 株式会社沖縄ダイケン 有限会社沖縄花火 株式会社リウボウ商事 株式会社住太郎ホーム 株式会社沖縄第一興商 株式会社地域ブランディング研究所 (Attractive JAPAN) 株式会社ネオックスワン 美浜リアルエステート株式会社 リゾートベビシッターサービス ワールドキッズ 吉本興業株式会社(よしもとエンタテイメント沖縄) 沖縄の風合同会社 レンタル琉装veni NPO法人那覇市街角ガイド 株式会社エルコム 沖縄サンゴウォーター「海人ぬま」 株式会社シナジーBP 日琉リネンサプライ株式会社 コーユーレンティア株式会社 沖縄営業所 株式会社IGLOO SYLジャパン株式会社 株式会社ゆがふホールディングス 沖縄体験エンライカナイ 沖縄アリーナ株式会社 株式会社イノアック琉球
--	---	--	--



賛助会員募集中！

OCVBは、「沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献する」ことを基本理念としています。

●会員サービス

迅速な情報提供

- ①月1回「観光統計」と季刊誌の配信
- ②公募情報等をお知らせするOCVB賛助会員メールマガジン配信

各種イベントのご案内

- ①OCVB事業説明会・交流会
- ②OCVB新春の集い
- ③OCVBが実施する海外見本市などへの出展

各種会議

- ①各種講演会・セミナーの開催

PRする場のご提供

- ①OCVB(当サイト)の「賛助会員情報」内にて貴社の企業情報を掲載
- ②OCVB(当サイト)の「賛助会員ニュース」内にて貴社の最新情報を掲載
- ③OCVB観光情報ウェブサイト「おきなわ物語」内でのご紹介
- ④OCVB事務所内パンフレットスペースのご提供

各種割引制度

- ①「おきなわ物語」内バナー広告掲載料10%割引

●年会費

基本会費：1口 50,000円

●賛助会員制度について

お問い合わせ先：OCVB 賛助会員事務局

TEL：098-859-6124 詳しくは、<http://www.ocvb.or.jp/organization/member>

